

平成 18 年度第 3 回釜石市社会教育委員会議

日時：平成 19 年 3 月 28 日（水）
午後 1 時 30 分～

場所：釜石市教育センター
5 階 岩手大学釜石教室

次 第

- 1 開会のことば
- 2 教育長あいさつ
- 3 社会教育委員会議議長あいさつ
- 4 協議
 - (1)平成 18 年度釜石市生涯学習事業の実施状況について
 - (2)平成 19 年度釜石市生涯学習事業の概要について
 - (3)その他
- 5 閉会のことば

・事業の概要

1. 生涯学習推進体制の整備

(1) 生涯学習推進体制の整備

生涯学習推進体制の整備

印は新規又は重点施策

事業名	ねらいと内容	実施状況
生涯学習推進体制の充実	<p>平成18年3月に策定した「釜石市生涯学習推進計画」に基づき、「生涯学習によるまちづくり」を目指す。特に「市民と行政との協働」という方向性を確立する。</p> <p>生涯学習推進協議会（仮称）の設置検討 生活応援センターを中心とした生涯学習の展開 生涯学習推進本部の活性化（下記参照） 学習機会・学習情報の提供、相談体制の充実 生涯学習関連施設（学びの場）の充実 人材の育成と成果の活用 生涯学習に関する調査研究の推進</p>	<p>生涯学習推進協議会（仮称）の設置検討 現在、首長部局で協働に関する市民会議を設立する構想があり、内容が重複するか否か動向を見ている。</p> <p>生活応援センターを中心とした生涯学習の展開 唐丹生活応援センター（モデル事業）において、ワークショップ「まちづくり検討会」を開催し、そこで出された内容を次年度以降の事業に取り入れる（検討）作業を行った。（協働の実践）</p> <p>○生涯学習推進本部の活性化 下記参照 生涯学習関連施設（学びの場）の充実 ハード事業ではないが、出前講座方式を多く取り入れ、地域の中で学びの機会の創出に努めた。</p> <p>人材の育成と成果の活用 本年度新規事業として、市民団体等の学習支援事業（詳細後述）を行い、各団体が発案した講座を当課と協働で実施。 生涯学習に関する調査研究の推進 県立生涯学習推進センターでの研修等に参加し、職員等のスキルアップに努めた。</p> <p>（成果と課題） 徐々に生涯学習推進計画に沿った事業等の実施が図られている。 今後とも、計画に掲げた目標・事業の遂行が課題。</p>
生涯学習推進本部の運営	<p>平成15年9月に立ち上げた生涯学習推進本部の下、市が行う「生涯学習」関連事業について、全庁的・総合的に内容や日程等の調整・連携、情報の共有化、類似事業の統合を図りながら、より効果的に事業を実施し、生涯学習の推進によるまちづくりにつなげることを目的とする。</p> <p>本年度から、上記の具体化として「生涯学習カレンダー」を当市HP上に作成する。 また、年数回、生涯学習推進本部会議及び連絡調整会議を開催し、市全体として生涯学習への理解と推進に寄与する体制づくりを進める。</p>	<p>かまいし情報カレンダーシステムの運用 ○7月13日、係長・補佐級による生涯学習推進本部連絡調整会議を開催。 ○10月30日、生涯学習推進本部会議開催。 ○11月6日、庁議で運用開始に係る流れ、体制を確認 ○12月1日、市のホームページに情報を掲載。また、関係機関にも概要版を配布した。</p> <p>【主な事業】 後述</p>

	<p>(主な推進本部事業) 「まちづくり出前講座」「岩手大学との連携事業」「指導者バンク登録事業」「情報誌まなびい発行」を推進事業に位置付ける。 生涯学習カレンダーの作成等、生涯学習事業の体系化も検討する。</p>	<p>(成果と課題) 総合政策課、広聴広報室、情報推進室、生涯学習スポーツ課の連携を図り実現。市民の学習・イベント参加に関し、参加しやすい環境づくりが可能となる。 また、定期的に会議を開催し、事業の評価・統合を含む見直しを行うことで、推進体制の活性化が図られるようにしたい。</p>
--	---	---

各課等との連携協力推進

事業名	ねらいと内容	実施状況
生涯学習まちづくり出前講座 (生涯学習推進本部事業)	市民の要望に応じて無料で市職員等を講師とした出前講座を開催し、生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図るとともに、地域課題を考える機会とする。(市 53、関係機関 17 テーマ) なお、市職員以外にも、警察署、岩手県の出先機関、民間団体、指導者バンクからの出前講座への講師参加協力を得て実施する。 更に、平成 21 年頃に実施される裁判員制度の周知を図るため、地方検察庁と連携により映画等を用いた講座を、各公民館で開催することとしている。	・3月20日現在 66 件受付、約 1000 人受講(予定含む)件数、受講者とも過去最高。 ごみ減量とリサイクル 26 件、個人情報保護と情報公開 8 件、防災知識講座 4 件、介護保険制度 4 件、地域医療について 4 件など。 学校(東中、双葉小、甲子小・中)、町内会、老人クラブ、民生児童委員協議会、公民館など 市職員以外の講座 4 件 (成果と課題) ごみ減量とリサイクルについては、環境課が全ての町内会に対し、開催の検討をお願いした。その結果、短期間に 20 団体を超える申込みがあり、市が直面している課題への理解を深めることができた。 今後とも、担当課並びに生活応援センターとも連携し、積極的に住民に周知を図るべき事項は、待ちではなく出向く方式で望む必要がある。
岩手大学との連携事業 (生涯学習推進本部)	平成 13 年 3 月に締結した釜石市・岩手大学相互友好協力協定に基づき、岩手大学との共催により市民向けの公開講座及び講演会等を開催する。 平成 15 年 3 月 25 日に稼動した IT 遠隔地連携システムを活用した講座を生涯学習講座の中で年数回実施する。 生涯学習講座 文化のまちづくり講演会 高校生対象講座 小・中学校との連携講座(小中学生を対象とした出前講座) 大学 生と小中学生の交流事業(大石交流センター)	は IT システム講座 ・「生涯学習講座」(高校生以上対象)9月16日～全 6 回講座(受講申込み 95 人/うち高校生、釜石北高校 4 人、高田高校 1 人、大船渡高校 2 人、釜石南 17 人)のべ 157 人受講 ・「環境科学入門」環境不法投棄を考える 7/15 受講者 14 人うち高校生 1 人(遠野高校) 「文化のまちづくり講演会」 文化系の項目参照 77 人 「高校生のための欧米の文学」(5/13・5/20)のべ 55 人受講(高校生 37 人=釜石南 28 人、大槌 4 人、高田 4 人、住田 1 人、一般=18 人) ・小中学校との連携講座 学生サークルに打診したが、日程が折り合わず本年度は見送り。

		<p>(成果と課題) IT遠隔地連携システムの活用の都合で、他都市とのかねあいもあり、独自の講座運営が難しくなっている。更に、岩手大学から経費の負担をほのめかす話も出ている。 そのような中でも、高校生の受講者数の増加が目立ってきている。学生にも気軽に参加できる講座運営に心がける。</p>
--	--	---

(1) 生涯学習の普及・奨励
生涯学習情報の提供

事業名	ねらいと内容	実施状況
生涯学習広報「まなびい釜石」の発行 (生涯学習推進本部事業)	生涯学習の推進による明るく住みよいまちづくりのため、学習意識の啓発や学習機会の提供等に関わる情報発信を行う。「まなびい釜石」(6・8月)「教育広報」(10月・2月)	<p>○6月15日・8月15日、広報かまいしの一部として「まなびい釜石 4頁」を発行。 ○10月15日、教育広報の一部(1頁)として発行した。 ○3月15日教育広報の一部として発行(教育委員会機構改革、少年交流体験セミナー掲載)</p> <p>(成果と課題) 昨年度より純粋な「まなびい釜石」の発行は2回となった。ただし、教育広報となっても生涯学習部門を1頁程度は常に確保している。 意識の醸成を図る紙面構成としていく。行事情報は避ける。</p>
公民館だより発行	公民館の講座案内、トピックスなどを広く地域住民に周知する。 全公民館で月1回(唐丹地区2回)発行	各公民館で毎月予定どおり発行。 (成果と課題) 19年度から各生活応援センターで発行することになる。これまで以上の配布充実に努め、センター(公民館)の周知を図っていく必要あり。
生涯学習情報提供システムの活用	<p>県立生涯学習推進センターの生涯学習情報提供システムに登録している情報の更新と積極的な活用を図るとともに、広く市民への活用も呼びかける。</p> <p>ホームページ http://www.manabi.pref.iwate.jp また今年からインターネットに接続できる携帯電話からも情報検索が行える携帯サイトが開設されたため、こちらも合わせて積極的な利用促進を図る。 携帯サイト http://www.manabi.pref.iwate.jp/m/</p>	<p>5月に登録している情報の追加・更新作業を実施(インターネットで閲覧可能。講座の開催や指導者の照会に活用できる)</p> <p>(成果と課題) 内容の更新は行っているものの、アクセス数自体は引き続き低迷している。 指導者情報などは全県を網羅し、参考となる部分も多いので、行政としては今後とも参考としていく。</p>

<p>釜石市ホームページの活用 (生涯学習カレンダー)</p>	<p>教育委員会のホームページを通じ、業務の概略説明、まちづくり出前講座、生涯学習指導者の募集を行っている。(申請書のダウンロード可)また、各公民館のホームページを作成し公開している。 さらに18年度からは、生涯学習関連事業を体系化し市民に情報提供を行うことができる「生涯学習カレンダー」を公開する。 これに伴い、生涯学習に関する情報量が多くなることから、「生涯学習のページ」の創設も視野に入れることとする。</p>	<p>○かまいし情報カレンダーシステムの運用 (生涯学習推進本部の運営の欄参照) (成果と課題) かまいし情報カレンダーが運用開始し、随時情報提供に努めている。公共機関へ配布も行っている。 なお、公民館のページについては次年度から本格稼働する生活応援センターで更新を行うこととしたい。</p>
-------------------------------------	--	--

(3) 学習成果の評価・活用
指導者等の養成と活用

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>生涯学習指導者及びボランティアの発掘・養成・活用 (生涯学習推進本部事業)</p>	<p>生涯学習のさまざまな分野で指導者やボランティアとして指導・協力いただける人材を引き続き発掘し養成するとともに、登録者名簿に登載し各種講座等での活用や学校・団体等への紹介を行う。平成18年3月改訂18年4月1日現在246名登録 また、釜石教育事務所と共催で、生涯学習ボランティア研修講座の開催を予定する。</p>	<p>○1月頃より、全面的な改正ではなく、新規登録者の打診、物故者の削除を行う。 ○釜石教育事務所との共催事業である「生涯学習ボランティア研修講座」については、読書推進団体等の研修講座を行っている。 (成果と課題) 個人情報保護法に関連し、情報提供の制限があり、公開できない状況にある。 今後、地域に根ざした指導者の情報については、各生活応援センターでも整備する方向で考える。</p>

学習成果の発表

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>公民館まつり (公民館事業)</p>	<p>公民館を中心に活動している自主活動グループや団体の学習成果の発表により、お互いの交流を深め今後一層の活動意欲の向上を図りながら、生涯学習の振興に資する。</p>	<p>○鶴住居公民館 第22回鶴住居町民文化祭 10月28日(土) 展示発表 10月29日(日) 舞台発表 のべ450人 ○唐丹公民館 第4回唐丹の日～地域安全大会～ 10月2日(月・祝) 原口あゆみコンサート、公民館の発表・展示など のべ400人 (成果と課題) 着実に定着している。特に唐丹地区では、住民主体で更に充実を図る内容が検討されている。 いずれにせよ、各地区生活応援センター(公民館)の中で、学校と連携するなど、地域の個性を伸ばす取組みを行う必要あり。</p>

自主活動支援事業

事業名	ねらいと内容	実施状況
自主活動グループ支援	<p>現代的な課題等（環境、子育て、国際交流、IT、男女共同参画）をテーマに自主活動を展開している市民団体の育成を図る目的で、グループが一般市民を対象とした講演会・イベントを開催する際、講師謝礼金の一定部分を教育委員会が負担する。 教育委員会と共催で開催</p>	<p>市民団体等の学習支援事業として実施。応募のあった6団体と連携して講座を開催した。そのうち5団体に対し、資金面での支援を行った。</p> <p>○颯 2000の会との協働（9/16） 「夢見る一寸法師」 受講 40人 講師 / 岩手大学教授中村一基</p> <p>○チャリティ社交ダンス in 釜石（9/24） 受講 20人うち子ども 6人</p> <p>「初心者向けボールダンス教室」 講師 / 澤田稔、美世子</p> <p>○育児サークル「てんしっち」（9/25） 受講 19組 41人</p> <p>「0歳児のベビーマッサージ」 講師 / 西里真澄（助産師・インストラクター / 盛岡市）</p> <p>○釜石民話の会（9/30） 受講 34人</p> <p>「遠野物語に学ぶ」 講師 / 遠野物語研究所佐藤誠輔</p> <p>○源氏物語を読む会（11/10） 「源氏物語と百人一首」 受講 43人 講師 / 学芸大学教授石井正己</p> <p>e-ネットアスからの要望に応え、生涯学習室の使用の緩和を行った。</p> <p>（成果と課題） 初めての試みとして実施。ネットワークづくりを目指した取組みとして充実させていく。H19 予算拡充。</p>

2. 社会教育推進体制の充実

(1) 社会教育指導体制の充実

社会教育指導体制の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
社会教育委員会議	<p>社会教育に関して教育委員会に助言を行う。</p> <p>社会教育に関する諸計画の立案 教育委員会の諮問に意見を述べる 社会教育に関して必要な調査・研究 任期 平成 17 年 5 月 1 日 ~ 平成 19 年 4 月 30 日</p>	<p>○第 1 回会議 5 月 26 日開催。委員 15 人中 11 人出席。(新任委員紹介、平成 18 年度生涯学習行政方針と計画について)</p> <p>(主な意見) 唐丹地区生活応援センターでは良いモデルをつくり他地区に発信すること。 子どもの居場所は委託金廃止後も継続を検討すること。 委員会資料は、推進計画に基づいた形式をとること。 協働という言葉の共通理解を図る必要がある。</p>

		<p>○第2回会議 11月30日開催。委員15人中9人出席。(中間報告ほか) (主な意見) 教育振興運動の活性化 芸術文化祭のあり方 成人のつどいのあり方</p> <p>○社会教育懇談会 1月23日(任意会議) 15人中10人出席。 教育振興運動の活性化方策 教育委員会の体制について</p> <p>○第3回会議 3月28日開催予定 ・生涯学習関係事業の実施状況報告、次年度方針</p> <p>(成果と課題) 今後、生涯学習推進計画で示した生涯学習推進協議会への移行の可否について検討していく必要あり。 任期が19年4月末日であり、継続を含め、新たな人選を行うこととなる。</p>
公民館運営審議会 (5地区公民館)	<p>各公民館長からの諮問に応じ、公民館の運営について意見を述べる。公民館の事業計画や事業実施結果等についての審議を行う。</p> <p>任期 平成17年5月1日～平成19年4月30日</p>	<p>5公民館でそれぞれ5月中に第一回会議を開催。いずれの館も事業計画等が承認された。</p> <p>第2回会議は3月上旬実施。平成18年度事業実施状況、次年度方針について説明の上、了承された。</p> <p>(成果と課題) 任期は社会教育委員と同様、4月末日まで。平成19年度は、小佐野公民館の新設など、今後とも公民館事業の評価機関として益々重要な役割となることが予想される。 また、対象区域が変更となることから、人選も再検討が必要。</p>
公民館長会議	<p>公民館事業の円滑な運営のための情報交換と協議を行う。</p>	<p>毎月1回月初めに開催。(前月の実施事業と当月の事業計画の報告、情報交換等)</p> <p>(成果と課題) 行事の報告の場となることなく、生活応援センターの本格稼働となることから、これまで以上に地区の生涯学習の拠点としてのあり方を議論・情報交換を行う場として、充実させる必要がある。 生涯学習担当課が支援・アドバイスを行えるような体制を築いていかなければならない。</p>
生涯学習資料の作成	<p>・生涯学習行政の方針と計画 ・生涯学習事業の実施状況</p>	<p>○釜石市生涯学習行政方針と計画作成(5月) ○前期事業実施状況と後期計画作成(11月) ○生涯学習事業の実施状況(3月)</p> <p>(成果と課題) 各センター(公民館)においても、実施計画等の企画立案が必要となる。まちづくり検討会の実施。</p>

各種会議等出席	<ul style="list-style-type: none"> ・管内社会教育課長会議 ・市町村生涯学習・文化行政事務担当者会議 ・釜石教育事務所管内社会教育担当者会議 ・教育振興運動市町村担当者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ○管内社会教育課長会議(4月) ○岩手県都市社会教育主管課長会議(7月) ○市町村生涯学習・文化行政事務担当者会議(4月・6月・12月・3月) ○教育振興運動市町村担当者会議(5月) ○次世代育成支援対策担当課長会議(11月) ○県内都市中央公民館長会議(11月) ○国庫補助委託事業説明会(2月13日) (成果と課題) 各会議で示された内容・情報等について、円滑に各公民館に周知する体制づくり。また各公民館においても、教育振興運動に積極的に関与していく道筋をつくる。 各公民館は区域内の実践区の構成員に入る。
---------	---	--

社会教育研修等の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
教育委員・社会教育委員等合同研修会	<p>教育委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員を対象に、生涯学習や社会教育の振興についての研修を行う。</p> <p>(釜石教育事務所・釜石市教育委員会・大槌町教育委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○8/9～10 岩手県公民館大会(滝沢大会)に参加。功労賞=神林社会教育委員、職員表彰=小池係長が受賞したほか2名参加。 ○東北社会教育研究大会(青森大会) 柏崎議長が東北表彰を受賞 ○県立生涯学習推進センター移動講座「いわて学びランド」(10/5)
社会教育委員・公民館運営審議会委員研究大会 社会教育関係職員等研修	<p>生涯学習の推進について共通の理解を図るとともに、実践事例をもとに当面する社会教育振興上の諸問題に関する研究協議を深め、委員の今日的な役割の確立に資する。</p> <p>(基本研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任社会教育関係職員研修講座 ・生涯学習情報提供システム担当者研修会 ・社会教育指導員等研修会 ・地域子ども教室推進事業担当者・指導者研修会(安全) ・地域子ども教室推進事業担当者・指導者研修会(担当・指導者) ・高齢者学習担当者研修会 ・社会教育主事・公民館職員研修講座(専門研修) ・生涯学習・社会教育推進計画専門研修講座(課題別) ・心豊かな人づくりフォーラム兼男女共同参画トップセミナー ・第53回岩手県公民館大会 ・生涯学習推進研究発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員・公民館運営審議会委員研究大会(花巻市11/9)委員3人参加。 5/9 生涯学習情報提供システム担当者研修会 6/28 事業・プログラム開発専門研修講座 7/7 地域教育力再生事業担当者研修 8/24 協働推進研修会 9/6 男女共同参画セミナー 10/3 地域教育力再生事業担当者・指導者研修(実践交流) 11/16 青少年健全育成ブロック懇談会 7/19～8/9 (岩手大学) 社会教育主事講習 山崎主事受講 10月1日付社教主事発令 2/8・9 岩手県生涯学習推進研究発表会

		<p>(成果と課題) 生活応援センター（公民館）職員については、各種生涯学習の研究機会に積極的に派遣し、スキルアップと生涯学習を担っている自覚を持たせる必要あり。</p>
--	--	--

社会教育施設の整備充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
公民館施設管理	地区公民館（5館）及び分館（8館）の維持補修等	<p>3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴住居公民館リソグラフ修繕 ・中村分館不凍水栓修繕 ・甲子公民館のヒーター除去 <p>(成果と課題) 老朽化がどの館も激しいことから、緊急度・優先度を決め順次補修していく必要がある。 また、水洗化工事については、今後とも財政課と協議の上、実現に向けてた取り組みを行っていく。</p>
釜石市大石地域交流センター管理運営	<p>旧大石小学校跡地に社会教育施設として整備し、昨年5月1日に開所した。市民交流、特に青少年の体験学習や各種生涯学習関連事業等に活用する。特に学校での自然体験、宿泊合宿等に活用されることを期待する。 使用料は1日10人まで2,000円（1人増える毎に100円）</p>	<p>○管理 / 大石町内会に軽微な管理を委託（清掃・鍵管理）</p> <p>○利用実績 / 14件316人利用 H17年度12件481人 利用者数は減少したが、一般（有料）が増加傾向53,200円（33,000円増） 体験キャンプや親子での利用あり。漁業体験のコーディネートも行った。</p> <p>(成果と課題) 民間団体が定期的に利用するなどの動きが出ているが、釜石小学校での体験事業があったものの、学校の活用が進んでいない。今後とも学校に対するPRを図る必要がある。 なお、19年度は当センターを主要会場とした、少年リーダー研修会の開催を予算化した。</p>
通信ネットワークの整備充実	<p>岩手大学・釜石市遠隔地IT連携システムの構築 岩手大学総合情報処理センターと釜石市教育センターを岩手情報ハイウェイと無線LANで結び、遠隔授業と双方向会議を実現。（平成15年3月25日から） 現在、岩手大学・釜石市・水沢市・二戸市で通信可能となっている。 生涯学習講座、学校教員の研修、企業の技術相等談に活用している。</p>	岩手大学との連携事業の欄参照

	<p>「エル・ネット」文部科学省の教育情報衛星通信ネットワーク設置。平成 19 年度で終了。 子ども放送局（毎週土曜日午前配信） 詳細別掲 オープンカレッジ（毎週火・木・金・土配信）詳細別掲</p>	<p>釜石公民館と教育センターに受信設備を設置している。 釜石公民館の利用は殆ど無い状況。 12月に「夢街道学びの里講座」(2回)を開催した。 いわたの宰相～その生き様に学ぶ 奥の細道～みちのくを訪れた人々 第1回 8人参加 第2回 14人参加 (成果と課題) 平成 19 年度から配信終了となる。 全国的に浸透が図られなかったことが要因。</p>
	<p>放送大学岩手学習センター釜石校 平成 14 年 6 月 30 日開所 学位取得・キャリアアップを目指す方々の利便を図るため、衛星放送を視聴できるほか、ビデオ・カセットテープにより復習ができる。 昨年 8 月 18 日～20 日にかけて当校を会場にスクーリングが開催された。今年度も何らかの事業を開催できるよう交渉中。</p>	<p>○昨年度開催した面接事業（スクーリング）は、今年度は開催されなかったが、次年度以降、開催される可能性あり。 ○現在、平成 18 年度 2 期の講座が開始されている。釜石校には、ほぼ毎日、ビデオ学習に訪れる生徒あり。 (成果と課題) 受講者は横ばい状態であるが、熱心な受講者が目立ち、時期にもよるが毎日来館している状況もある。 19 年度はスクーリングを実施する予定となっている。</p>

社会教育関係団体の育成等

事業名	ねらいと内容	実施状況
社会教育関係団体の育成及び活動支援	<p>活動事業費の一部を補助し、団体の育成及びリーダーの養成を図り、生涯学習の振興に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市教育振興運動協議会 200 千円 ・釜石市 P T A 連合会 100 千円 ・いわて少年セミナー参加者補助金 140 千円 (参加費用 30,000 円 1/2 補助、4 名分) ・岩手県 P T A 研究大会釜石大会補助金 100 千円 	<p>全て実行済み。 (成果と課題) 市単独の補助金は削減される方向にある。補助金によらない支援策、体制を整備していく必要あり。</p>

ユネスコ活動の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
ユネスコ精神の普及活動推進事業	<p>相互のコミュニケーションを図りながら世界平和と人類共通の福祉を実現しようと設立されたユネスコ（国連教育科学文化機関）の活動を支援する。 ユネスコ世界寺子屋運動推進事業（「書き損じハガキ」の回収運動を通じて発展途上国で民間団体が行っている識字教育活動を支援する）各種国際交流事業、文化事業等</p>	<p>平成 18 年度総会を 6 月 10 日(土)に開催。 主な事業) <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコパネル展 ・世界寺子屋運動の充実 ・国際交流事業 ・隣接団体等の各種大会支援 (成果と課題) 民間ユネスコ活動のあり方、支援方法を検討していく。</p>

3. 生涯の各時期における生涯学習の充実

(1) 生涯の各時期における生涯学習の充実

家庭教育・乳幼児教育の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>ひよこ教室 (公民館・健康推進課)</p>	<p>子どもを健やかに育てるため、地域に住む親子が集い、育児について学び合いながら交流を深める。地域での自主的な活動グループづくりも支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石ひよこ教室(釜石公民館) ・平田ひよこ教室(釜石公民館) ・昭和園ひよこ教室(釜石公民館) ・子育てひまわり教室(唐丹公民館) <p>おやつ作り、お散歩、プール遊び、運動会、人形劇、クリスマス会、豆まき、エアロビクス、ひな祭り等</p>	<p>○釜石ひよこ(釜石公民館) 9回開催 のべ341名 合同運動会200人含</p> <p>○平田ひよこ(釜石公民館) 12回開催 のべ252人 自主GP化実現</p> <p>○昭和園ひよこ(釜石公民館) 9回開催 のべ170人</p> <p>○子育てひまわり教室(唐丹公民館) 毎月1回開催 支援センター協力 13回開催 のべ278人</p> <p>(成果と課題) 平田ひよこ教室参加者が18年度事業閉講後、自主活動グループとして活動するようになったのは大きな成果。 今後、生活応援センター(公民館)が各地区で稼働することにより、事業の展開を担っていく。</p>
<p>家庭教育支援総合事業 (国庫委託事業)</p>	<p>子どもの教育や人格形成に大きく関わっている親等を対象に、家庭や地域の教育力の活性化を推進することをねらいとして子育て学習講座を実施する。</p> <p>就学時健診を活用した子育て講座 6講座</p> <p>小学校入学前の子どもを持つすべての親が参加する就学時健診の機会を活用した子育て講座の開催</p> <p>授業参観等を活用した子育て講座 14講座</p> <p>各小中学校、幼稚園及びPTA等と連携して、授業参観等の機会を活用した子育て講座の開催</p>	<p>11月から市内6箇所で行われる平成19年度就学児童に対して行われる健康診断の時間を活用し、付き添いの保護者全員を対象とした子育て講座を実施した。 380人</p> <p>現在、保育園、幼稚園、小中高等学校との共催により、子育て学習講座を実施している。 1,604人</p> <p>○思春期講座 今年で3年目になり、中学校1巡した。明日の親となる中学生を対象に、「性」について正しい知識を身に付けさせるとともに、自他を大切にすることを養う目的で開催した。 ・橋野中学校 41人 ・釜石中学校 470人</p>
<p>フォーラム家庭教育(県事業)</p>	<p>「父親の家庭教育参加」に焦点をあてた講座として開催。 家庭教育における課題等について研修し、家庭の教育力の向上に資する。</p>	<p>9月9日(土)釜石市民体育館及び小川川を会場に開催。 アウトドア活動を中心に親子の触れ合いをテーマとした内容。</p> <p>講演 「アウトドアで子どもたちの生活リズムを」村田 久氏 実技 川釣り、水生生物観察 テント設営入門 参加74人(釜石57人)</p>

青少年教育の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>地域子ども教室 推進事業 (子どもの居場所 づくり新プラン) 国庫委託事業</p>	<p>学校や公民館等を活用し、放課後や週末などの一定時間を利用し、子どもたちが文化活動や様々な体験活動を行える場を提供する。 当市では昨年度から釜石公民館(名称:ばしょまえ交流館)に併設し、平日及び土曜日に居場所を開放している。施設内では、アニメの上映、遊具開放、囲碁・将棋、ものづくりの事業を実施するほか、図書スペース、異世代の交流の場として住民にも開放する。 昨年度約 2000 人 来所 本年度 225 日(前年度 209 日)</p>	<p>4月10日(月)から日・水・祝日等を除く毎日開所。長期休暇中は、水曜日も開所した。 3月10日終了時点で、2570人が利用した。(昨年度1年間で約2000人)一日あたり11.4人 (成果と課題) 釜石小学校区全域から来所しており、確実に定着した。 平成19年度からは、放課後子ども教室事業として、市内6ヶ所で実施する予定。これまでの居場所に加え、新たに学習活動を行うこととなる。地域の協力が課題となる。</p>
<p>子ども読書活動 推進事業</p>	<p>平成17年度に策定して「釜石市子どもの読書活動推進計画」に沿った事業展開を図る。 特に、市立図書館と学校図書館との連携、ボランティアとの協働、更に子どもたちの感受性や創造性を培う事業として「音読・朗読」に焦点をあてた取り組みを実施する予定。</p>	<p>朗読に焦点をあてた取組を予定していたが未実施となった。 (成果と課題) 図書館については、学校図書館との連携活動が実施されている。 釜石・大槌地区子ども読書活動推進連絡会、甲子地区読書推進協議会など類似する施設があり、それぞれ事業を実施していることから、効率的な事業のあり方を検討する必要がある。 その中から「音読・朗読」に関する事業の再構築を図っていく。</p>
<p>わんぱく広場 ちびっこ広場 ふれあい広場 (公民館事業)</p>	<p>地域の中での交流や自然とのふれあいを通じて、明るく心豊かな子どもたちの成長を願って実施する。 自然体験、スポーツ、伝統行事、世代間交流等 ・白山わんぱく広場(釜石公民館) バルーンアート、史跡探訪、ｽｰｯｼﾞﾝｸﾞﾗ、座禅、茶道、ｷｯﾌﾟﾙﾝﾃﾞｲ体験等 ・ふれあい広場(甲子公民館) 花いっぱい運動、盆踊り、自然観察、みずき団子作り等 ・わんぱくワイ・わい広場(鶴住居公民館) ものづくり、昔遊び、みづきだんご団子作り、レク等 ・山びこふれあい教室(栗橋公民館) 水質調査、花いっぱい、星座観察、しめ縄・みずき団子作り等 ・荒川体験サークル(唐丹公民館) 水生生物調査、星空観察、昔遊び、探検、伝統行事体験等</p>	<p>○白山わんぱく広場(釜石) 7/1(バルーンアート) 7/15(釜石の歴史・女坂) 9/2(ｽｰｯｼﾞﾝｸﾞﾗ) 9/16(座禅体験) 11/11(茶道体験) 1/27(ｱｰﾓﾝｸﾞ体験) 2/17(ｷｯﾌﾟﾙﾝﾃﾞｲ体験) のべ73人 ○ふれあい広場(甲子) 4/22・23(松倉神社祭り) 6/17(花いっぱい運動) 7/27(夏休み映画会) 8/16・17(盆踊り) 1/14(みづきだんごまつり) のべ822人</p>

		<p>○わんぱくワイ・わい広場（鶏住居） 5/27(エコガトで作るふくろう) 6/24(空気叩つを作ろう) 7/22(魔法のびっくり箱づくり) のべ23人</p> <p>○山びこふれあい教室（栗橋） 7/2(郷土を花で飾ろう) 7/25(水生生物・水質調査) 8/17(夏の星座観察会・中止) 12/27(しめ縄づくり・中止) 1/8(みずき団子づくり/橋野地区) 1/8(みずき団子づくり/中村地区) 2/4(餅つき大会/栗林地区) のべ190人</p> <p>○荒川体験サークル（唐丹） 6/3(開講式・レク) 6/17(水生生物観察・中止) 7/8(五葉山登山会) 9/23(お宝探検) 11/11(わらじ作り) 12/15(冬の星空観察) 1/7(小正月ななみたぐり) 2/10(昔遊び) のべ99人</p> <p>(成果と課題) どの地区も子どもの受講者確保に苦心している。伝統文化行事の掘り起こしが良いヒントである。唐丹地区では、花露辺の「するめつり」に引き続き、荒川地区の「ななみたぐり」の復興を行った。ただ、市街地での伝統文化継承は難しい。</p>
<p>ふるさと発見！ いわて少年交流 体験セミナー（県 主催）</p>	<p>これまでの別々に行っていた「岩手発少年体験セミナー」「いわて再発見青少年銀河鉄道体験交流事業」を統合し、事業を縮小した形で継続する。 県内、県外の訪問地の青少年との交流や体験学習を通じて、自然や歴史、産業経済等を学びながらふるさとづくりを主体的に考える青少年の育成を図る。120人 県内研修 県北地方 県外研修 沖縄県</p>	<p>県内から120人参加（前年度まで200人） 釜石から小・中・高校生各1人</p> <p>○県内研修（9/16～9/18） 陸中海岸青少年の家 普代村方面 ○県外研修（1/7～1/11） 国立岩手山青少年の家 沖縄</p>

		<p>(成果と課題) 年々規模が縮小されてきている。次年度は沖縄研修が廃止される予定となっている。参加者少年からの感想では、社会参加意識の醸成が図られていることが理解できるだけに残念である。</p> <p>それに代わるものとして、推進計画にも盛り込んでいるリーダー育成の機会を19年度予算化した。</p>
国際理解講座「あつまれキッズ」 (協力：フレンドシップ)	<p>お互いの文化や人間性を尊重し合いながら、小中学生と外国人(英語指導助手等)が交流し、理解を深める。お互いの文化や人間性を尊重し合いながら、小中学生と外国人(英語指導助手等)が交流し、理解を深める。</p> <p>豆腐づくり・外国の遊び・ウインドファーム見学、世界の料理づくり、ゲーム&バーベキュー、交流会、日本料理、ペーパークラフト</p>	<p>全5回講座 登録39人(大人含) 6/3 まるごと橋野体験 31人 7/8 インドネシア料理 35人 7/22 国際交流 in 大石 中止 12/2 日本料理 35人 3/3 ペーパークラフト挑戦 27人 のべ128人</p> <p>(成果と課題) これまであまり参加してもらえなかったALTの参加が得られ始めている。JICAとの連携も順調に行われた。</p> <p>ただ、国際理解という点では、まだまだ検討する余地がある。</p>
こどもエコクラブ (協力：環境アドバイザー)	<p>『アースレンジャーかまいし』団員として、自然の中での様々な体験活動を通して自分たちが暮らす自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育む。</p> <p>ビートルバートづくり、ソーラーづくり、生物調査、野鳥観察、酸性雨等各種調査など</p>	<p>全6回開催。 登録45人(大人含) 本年度は、8/8の活動の様子をIBC「じゃじゃじゃTV」で放送。また、活動の成果を代表4人が9/30「かまいしエコタウンフォーラム2006」で発表した。</p> <p>5/13 ビートルバートづくり 38人 6/10 ソーラーづくり 33人 8/8 鷓住居探検隊 26人 9/16 身近な生き物調査 22人 12/9 環境バトル(1) 22人 1/16 " (2) 14人 水辺の鳥観察会 27人 のべ182人</p> <p>(成果と課題) 定着しているが、どれだけ子どもたちにエコ意識が根付いているか追跡していく必要がある。中・高生のボランティア活用も必要。</p>
盛岡 - 釜石交流サマーキャンプ事業	<p>盛岡地区と釜石の子どもたちが友好・交流を深めながら、キャンプ体験活動を行う。平成14年度・15年度・17年度実施。 高校生ボランティアを活用する。</p>	<p>本年度中止。 (成果と課題) 指定管理者制度により受け入れできる施設等が難しくなった。</p>

<p>エル・ネット子ども放送局 {文部科学省・教育情報衛星通信ネットワーク} (生涯学習スポーツ課・釜石公民館)</p>	<p>衛星通信を利用して全国に配信されている子ども放送局を常設し、毎週土曜日、子どもたちに夢と感動を伝え、子どもたちが自らの生き方、あり方を考えるきっかけを与える番組を提供する。 夢スタジオ スポーツヒーロー・ヒロインとの双方向対話番組(生放送) チャレンジ教室 科学実験、科学工作を題材とし、科学への興味関心を高める。(生放送) 子ども図書館 図書の紹介、読書啓発する事業の様子を紹介 科学番組 サイエンス・チャンネルで放送している番組の中から子ども用に再編集。 その他、「研究室におじゃまします」「のぞいてみよう知らない世界」「なんでもやってみよう」「体験活動の紹介」「子ども編集委員企画による番組」が放送される。</p>	<p>通信ネットワークの充実の欄参照</p>
<p>釜石市成人のつどい</p>	<p>成人の日を記念し新成人の門出を祝うとともに、釜石市民としての自覚を促し、社会人として求められる権利の行使と、果たすべき義務・責任を全うできるよう励ます。 式典、催事(茶席、着付け直し、記念撮影用舞台、談話室)等 成人の日の前日の1月7日(日)の開催とする。</p>	<p>平成19年1月7日(日) 午後2時から開催した。 参加者 男167人 女177人 計344人参加 (成果と課題) 新成人の態度は概ね好評であった。新成人からのアンケート結果でも今回の内容で概ね満足している。 ただし、3月議会でも質問されたが、実行委員会形式の可否や、記念品についても検討課題となる。</p>
<p>釜石市教育振興運動協議会総会</p>	<p>釜石市教育振興運動協議会9実践区の実践課題を確認し、今年度の実践活動の充実を図る。</p>	<p>推進委員 実践区 指導者 学校関係者 P T A</p> <p>○平成18年度総会 6月23日(金) 市民文化会館93人 「とうふをよく噛んで」(元岩手県教育長 五十嵐正氏) ○釜石大槌地区教育振興運動リーダー研修会 6月27日(火) 大槌町中央公民館 釜石市参加者58人 ○釜石市教育振興運動集約集会 2月3日(土) 食育のすすめ(元石川高校校長 活動発表ほか</p>
<p>釜石・大槌地区教育振興運動リーダー研修会(県主催)</p>	<p>教育振興運動に対する理解を深め、実践活動の進め方についての共通理解を図るとともにリーダーとしての実践意識を高め、一層の充実につなげる。</p>	
<p>釜石市教育振興運動協議会集約集会</p>	<p>教育振興運動の成果を確認するとともに、青少年の現状や教育課題の把握を通して運動への実践意識を高め、一層の充実につなげる。</p>	
<p>(成果と課題) 活動については地域による温度差もあり、大半はP T A活動から抜け出していない状況だ。行政・地域の関与が弱いとの指摘もなされている。打開のため、各生活応援センター(公民館)が実践区の構成員となるよう、大幅な対応策を検討する必要がある。</p>		

成人教育の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>外国語会話教室 “ KISS ”</p>	<p>外国語の学習を通じて外国人との交流を深めながら外国文化についても見識を広げ、国際感覚を豊かにすることを目的に開催する。 英会話教室（昼コース、夜コース） それぞれ3期開催する。</p>	<p>受講料 8回 4,000円 ○英会話教室 （第1期） 昼の部 5/15～7/3 のべ 60人 夜の部 5/17～7/5 のべ 143人 夜3コース （第2期） 昼の部 10/2～11/27 のべ 94人 夜の部 10/4～11/29 のべ 209人 夜3コース （第3期） 昼の部 1/22～3/19 のべ 61人 夜の部 1/17～3/7 のべ 281人 夜3コース 計 848人</p> <p>（成果と課題） 受講生は昨年度と比べ増加して（戻って）きている。やはり、外国人との会話を通じた交流を楽しみにしていることがわかる。 次年度開催については、県からの指摘もあり、現在実施の可否について検討している。</p>
<p>外国人のための日本語会話教室</p>	<p>市内在住の外国人が日常生活に困らない程度の日本語を学習するとともに外国人相互の交流の場とすることを目的とすると共に、民間主導の国際交流協会設立にむけた、具体的な取り組みの参考事例とするために実施する。</p>	<p>受講料 8回 1,000円（夜） （第1期）5/17～7/5 のべ 143人 熟度により2グループに分けて実施 （第2期）10/4～11/29 のべ 57人 （第3期）1/17～3/7 のべ 65人 計 265人</p> <p>（成果と課題） 受講外国人にとっては、講座の指導が分り易く、フレンドリーな中で受講できることから、継続実施を希望する声が高い。 国際交流協会の主催事業として移行できるかどうか引き続き検討する。</p>
<p>アースデイ釜石事業・ゴミウォッシング</p>	<p>全世界で行われるアースデイ（地球の日）事業の一環として、身近な河川敷等でのゴミ拾いを実施し、環境保全を地域で考え行動するきっかけとするとともに、一人ひとりが地域や自然環境を大切にすることを育む目的で実施する。</p>	<p>実施結果 / 参加者 703人（過去最高） 1350kg回収</p> <p>（成果と課題） 不法投棄は確実に減少しており、参加者も増加傾向にある。特に河川沿いの町内会は殆ど参加してもらっている。 ただ、普通のゴミ拾いの意識から脱却していないような感じもあり、意識を変えていくことを前面に出した活動を目指していくべき。</p>

<p>まちづくり市民フォーラム (まちづくり市民フォーラム実行委員会と共催)</p>	<p>男女のパートナーとしてのあり方、家族の絆、子育てのあり方などを取上げることで、あらためて家庭や社会のきずなについて考え、共に支え合い安心して暮らせる21世紀のまちづくりを目指して開催する。</p>	<p>2月3日(金)開催予定。 中止 講師/早稲田大学社会科学部教授 岡沢憲扶氏を予定していた。 (成果と課題) 事業の企画立案過程に問題があり、講師から断られるという結果となった。 予算確保の問題もあるが、実行委員会自らが企画・運営に携わるよう誘導することが必要となる。</p>
<p>エル・ネット「オープンカレッジ」 {文部科学省・教育情報衛星通信ネットワーク} (生涯学習スポーツ課・釜石公民館)</p>	<p>エル・ネットで配信される生涯学習、学校教育に関する多様なジャンルの情報番組の中から、全国の大学の公開講座を放送し、市民の生涯学習活動を支援する。 (毎週、火・木・金・土放送)</p>	<p>通信ネットワークの整備充実の欄参照</p>
<p>地域活性化事業 (唐丹公民館) 大石グラウンドゴルフ大会 環境保全支援事業</p>	<p>地域住民と他地域との交流を通じて、健康づくりと地域活性化を図る。 (藤沢町秀麗会との交流) 地域の環境保全活動を通じ、暮らしやすいまちの創出と、地域の自然財産、文化を再認識する契機とする。 奇岩亭清掃、片岸海岸清掃、環境の森刈払い</p>	<p>7/17 大石地域交流センターで開催 のべ100人 ・4/9 奇岩亭清掃(体験唐丹の歴史) 9人 ・6/28 片岸海岸清掃 182人 ・6/19 鮭の稚魚放流 30人 ・10/21 環境の森植樹 120人 ・1/14 花露迎するめぐり 26人 ・1/15 荒川ななみめぐり 30人 のべ計497人 (成果と課題) 伝統文化の復興、環境問題など、公民館事業として難しいが、価値のある取組みを行っている。 今後の公民館事業の取組みとしてもヒントを与える事業である。各地区に波及させていきたい。</p>
<p>地域女性教室 (公民館事業)</p>	<p>地域女性の学習意欲を喚起し、趣味や教養を深めながら自分自身を高めるための学習機会を提供する。女性を取り巻く課題について学習し、培った力をまちづくりに活かすとともに、個人の豊かな感性を磨き明日の暮らしを拓く主体性を養う。 ・ ヤング・ミセス広場 ガ－デニング、そば打ち、各種研修、裁判員制度、料理教室、アピックスなど ・ 甲子婦人学級(甲子公民館) 食と健康、館外研修、手芸、文化講演会など ・ 実年ひろば(鶴住居公民館) コースーツ、自然観察、調理実習、館外研修、手芸、健康講座、レク、講演会、裁判員制度 ・ 山びこ女性教室(栗橋公民館) 籐樹、裁判員制度の学習 ・ 生き生き学級(唐丹公民館) 野草観察、切り絵、健康料理、遺言と後見人、裁判員制度</p>	<p>ヤングミセス広場(釜石) 5/31(ガ－デニング) 6/28(そば打ち体験) 7/12(バンダ－スティックづくり) 7/18(釜石湾口防見学) 9/20(プチヨガ体験) 10/25(ガ－デニング) 11/8(裁判員制度)合同 11/22(県総合防災センター見学/中止) 12/13(手軽な料理) 1/24(フェアクサイズ) のべ51人 ○甲子婦人学級(甲子) 5/18(開講式・講話) 6/9(高脂血症予防献立) 7/13(ウォークリー) 9/15(県総合防災センター視察)</p>

		<p>10/19(指編みの帽子づくり) 11/17(裁判員制度) のべ 332 人</p> <p>○実年ひろば(鵜住居) 5/18(グランドゴルフ) 6/8(和山の自然散策)男の手料と合同 7/6(調理実習) 9/19(館外研修)男の手料と合同 10/19(リース作り) 11/22(調理実習) 12/14(レクリエーション) 2/6(調理実習・健康講座) 3/15(裁判員制度鑑賞) のべ 151 人</p> <p>○山びこ女性教室(栗橋) 9/26(籐樹を彩る・橋野延期) 10/1(籐樹を彩る・栗林) 10/24(裁判員制度について)出前講座と合同 のべ 27 人</p> <p>○いきいき学級(唐丹) 6/21(野草観察会) 7/12(バルーンアート) 9/7(血液さらさら教室) 2/7(裁判員制度学習会) 2/15(健康料理教室) のべ 64 人</p> <p>(成果と課題) 女性に限定した講座ではあるが、内容的に趣味的なものに偏る傾向がある。現代的な学習も増えてきてはいるが、十分とは言えない状況にある。各公民館では、その点も含め運営の工夫が必要となる。 なお、甲子婦人学級が休止することとなったが、再開・再結成を含めた取り組みが必要。</p>
<p>CD コンサート 釜石公民館</p>	<p>ポップス、GS、フォークソング、童謡、その他多彩なジャンルの音楽による CD コンサートを開催する。</p>	<p>6月から毎週1回開催。 のべ 60 人</p>

<p>健康講座 健康教室 ウォーキング教室 (公民館・健康推進課)</p>	<p>健康相談や諸検査・測定、講話、体操等を通じて、自分の健康は自分で守ることの大切さを学ぶ。「健康は自分でつくる。みんなで支える。」</p> <p>甲子公民館(健康講座)、栗橋公民館(もの忘れ予防教室・健康相談)・唐丹公民館(生活応援センター)「健康・介護教室」 「家庭訪問・健康教室」 ・ウォーキング教室/鵜住居、栗橋、その他の公民館でも各講座に取り入れている。</p>	<p>○ウォーキング教室(甲子) 5/2、7/13 ゆうゆう講座実施</p> <p>○ウォークラリー(鵜住居) 9/10、10/10 のべ39人</p> <p>○もの忘れ予防教室(橋野) 町内9会場2回実施 のべ254人</p> <p>○健康相談(栗橋) 10/5、11/8、12/19 のべ20人</p> <p>○健康・介護相談(唐丹) 相談会毎月1回 74人 来所相談 27人 基本健診相談会 75人 のべ176人</p> <p>(成果と課題) 19年度から生活応援センター(公民館)での主催事業となる。これまでより身近・気軽に受講できることから、健康保持つながらる取組みとして期待。 心の健康増進のためにも重要。</p>
<p>男の料理教室 (公民館・健康推進課)</p>	<p>少子高齢化や男女共同参画社会が進展する中で、「男子厨房に入り、料理を楽しむ」ための講座として開催する。</p> <p>甲子公民館(釜石いきいきクラブ・洞関男の料理)、鵜住居公民館(男の手料理講座)、栗橋公民館(橋野・男の料理教室)</p>	<p>○釜石いきいきクラブ(甲子) 4・8・1月を除き開催。 のべ300人程度</p> <p>○洞関男の料理(甲子) 6・7・9・10月開催 のべ50人程度</p> <p>○男の手料理(鵜住居) 6・7・9・10・12・1・3月開催。 のべ63人</p> <p>○橋野・男の料理教室 4・6・10・1月開催 のべ38人</p> <p>(成果と課題) 上記と同じ</p>
<p>実年ひろば(成人対象) (公民館事業)</p>	<p>成人(高齢者も含む)の方々を対象に、新しい生き方等について考える契機とするとともに、社会活動への主体的な参加を促進する。</p> <p>釜石公民館「わくわく広場」旧明日を拓く市民セミナー</p> <p>○ゆうゆう講座(甲子公民館) 地区の名所めぐり、手芸等 甲子公民館「実年講座」 鵜住居公民館「ふれあいワーク講座」 唐丹公民館「実年教室/体験唐丹の歴史」</p>	<p>○わくわく広場(釜石) 6/15(相続と遺言) 7/14(籐のペン立て作り) 8/2(籐のパン皿作り) 8/23(籐のパン皿応用編) 9/13(ウォーキング) 10/11(県総合防災センター見学) 11/8(裁判員制度)合同 のべ112人</p> <p>○ゆうゆう講座(甲子) 5/2(松倉花見名所めぐり) 7/13(ウォークラリー) 7/28(手作り絵本) 8/11() 1/27(千代紙でつくるおひなさま) のべ117人</p>

		<p>○実年講座（甲子） 6/3（洞関グラウンドゴルフ） 6/24 大畑地区（ちぎり絵） 7/18 大松地区（折り紙づくり） 7/20 洞関地区（レク） のべ81人</p> <p>○ふれあいワーク講座（鶴住居） 4/19～22（カージュづくり） 6/13（和菓子づくり） 8/3（エクラフト） 9/15（エクラフト） 12/25（おせち料理） のべ79人</p> <p>○大人の手づくりクラブ（鶴住居） 6/22（紙でつくるカージュ） 7/1（スリ布でつくる人形） 8/5（夏祭りピール作り） 9/2・8（ペーパークラフト） 10/7（ソープバースカット） 11/11（宝箱五月人形） 12/9（宝箱クリスマスツリー） のべ46人</p> <p>○体験唐丹の歴史（唐丹） 4/9（奇岩亭清掃） 6/10（逢わず沼探訪） 9/2（花露辺探訪会） 10/14（大石探訪会） 12/2（篠倉峠越え） 2/10（盛岩寺探訪会） のべ62人</p> <p>（成果と課題） 様々な活動がなされているが、地域での社会参加活動、まちづくりを目指す活動も必要となる。</p>
<p>パソコン教室 （自主活動・公民館支援）</p>	<p>平成16年度に行ったパソコン講習会で学んだ受講生が中心となり、市民対象のパソコン講座を公民館を活用して展開。 鶴住居公民館、唐丹公民館</p>	<p>○釜石公民館 マリンネットクラブ</p> <p>○甲子公民館 甲子パソコンクラブ</p> <p>○鶴住居公民館 あすなる会、毎週火曜日</p> <p>○唐丹公民館 愛ちゃんネット 毎週・火・土曜日（自主グループ化）</p> <p>（成果と課題） 栗橋地区を除く殆どの地区で主催講座或いは自主活動グループ化がなされている。 パソコン自体の老朽化も目立つが、新体制となっても引き続き、機材の開放、支援を行っていく。</p>

<p>文化講演会 (公民館事業)</p>	<p>社会の変化に対応し、地域の人々が自分たちの生き方と役割についての認識を深め、心豊かな生活を送ることができるよう考える契機としながら地域づくりに役立てる目的で開催する。 甲子公民館、栗橋公民館、唐丹公民館で開催</p>	<p>○特別講座(甲子) 11/17 裁判員制度について/婦人学級と合同 115人</p> <p>○出前講座(栗橋) 10/24(裁判員制度について)やまびこ女性ひろばで積算 10/27(振り込め詐欺被害防止橋野地区) 12/8(振り込め詐欺被害防止栗林地区) のべ43人</p> <p>(成果と課題) 現実に他人事ではない問題に目を向けた講座として意義がある。新体制となった後も、現代的な課題については、取り上げる必要がある。</p>
<p>公民館特別・出前講座 (鵜住居公民館)</p>	<p>公民館から離れている地区住民を対象に、町内会等と連携し、各種講座を開催する。 健康体操、絵手紙、ハーモニカ演奏</p>	<p>出前講座(箱崎地区) 11/14(おやつ作り) 12/22(お正月の花をいける) 2/14・20(エコラフの手提げかごづくり) (片岸地区) 5/22(3B体操) 10/23(押花の八ガキと菜づくり) 11/20(ハーモニカ演奏会) (両石地区) 9/12(エコラフの手提げかごづくり) 10/13(和山の風力発電見学) 11/25(調理実習) (わらび学園) 7/12(新聞紙コラージュ) (その他) スポーツチャンバラ教室 のべ289人</p> <p>(成果と課題) 生活応援センター(公民館)となっても、1ヶ所が受け持つ範囲は広範囲に及ぶ。このように、普段中央会場でしか実施できない講座を積極的に出前することで、公民館の浸透が図られる。 このような方式を全公民館で展開していくこととなる。</p>

<p>夢街道まなびの里講座 (釜石・大槌地区社会教育振興会)</p>	<p>エル・ネット(教育情報衛星通信ネットワーク)を活用し、県立生涯学習推進センターから発信する「いわて学講座」の中から2講座をテレビ視聴受講講座として実施する。</p>	<p>エル・ネットオープンカレッジの放送番組を活用し、地域住民に郷土岩手の歴史・文化に関する学習機会を提供した。</p> <p>1 日時 平成18年12月6日・13日 13:20～15:30</p> <p>2 場所 教育センター5階岩手大学教室</p> <p>3 内容 6日「いわての宰相とその生き様に学ぶ」8人 13日「奥の細道～いわてを訪れた人々」14人</p> <p>4 対象 市民 (成果と課題) 19年度エルネットでの配信はしないこととなったが、新たに講師を招聘して行う講座に移行する予定。 熱心な受講者の活用を図ることも今後の課題である。</p>
<p>植物観察会 (公民館事業) (栗橋公民館)</p>	<p>ふるさとの自然や植物に関心を持たせ、郷土を愛する心、自然愛護の心を育む。 和山地域の植物観察と採集、標本作り 講師：釜石植物の会</p>	<p>8/27 和山湿原において観察会開催 / 講師 鈴木弘文氏 14人 (成果と課題) 栗橋地区で長年独自に開催してきた事業であり、地元学としても貴重な講座である。 採取した植物の標本を広く市民に紹介するなど、得られた成果を活用する方策が必要。</p>
<p>高齢者教室 生き生き教室 (公民館事業)</p>	<p>高齢者の生活や地域に密着した課題について学びながら社会参加を促進し、自らの生きがいづくりと地域の人づくり・まちづくりに役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜石公民館 / いきいき広場(旧高齢者生き生き中央教室) 歴史講話、館外研修、フワ-アレンジメントほか いきいきシルバー教室(鶴住居公民館) 健康講話、体操、陶芸、民話、人形劇鑑賞ほか 山びこ生き生き教室(栗橋公民館) ニュースポーツ、史跡探訪、長寿社会に生きる シルバー教室(唐丹公民館 / 花露辺地区)「語り伝えよう唐丹の歴史」 季節の料理、昔の生活、昔話・方言など 	<p>○いきいき広場(釜石) 6/22(義経北行伝説) 7/20(県総合防災センター見学) 9/21(フワ-アレンジメント) 10/18(フェアイグナイター) 11/8(裁判員制度)合同 1/13(いきいき介護教室) 1/25() 2/8() 2/22() 3/10() のべ165人</p> <p>○いきいきシルバ-教室(鶴住居) 6/20(もの忘れ予防) 7/11(レク) 9/6(陶芸教室) 9/27(昔話を聞く会) 10/18(館外研修) 11/17(人形劇、ハーモニカ演奏、東中津波記録発表、合唱) のべ280人</p>

		<p>○山びこ生き生き教室（栗橋） 6/24（グラウンドゴルフ） 7/18（史跡を訪ねて/大船渡方面/橋野地区） 9/5（長寿社会を生きる/橋野地区） 9/12（同栗林地区） 9/14（史跡を訪ねて/大船渡方面/栗林地区） 10/28（グラウンドゴルフ/栗林） 11/4（同/橋野） のべ 103 人</p> <p>○語り伝えよう唐丹の文化 7/20（けるべ学/昔の生活） 9/20（行事・風習・漁業） 11/9（お祭り・屋号） 1/25（小正月・するめ釣り） 3/8（郷土芸能・御祝い） のべ 57 人</p> <p>（成果と課題） 講座への参加を通して、まちづくり・友達づくり・心の健康づくりを推進している。 新体制のもと、個性的な事業展開を図る必要がある。</p>
<p>デイサービス （社会福祉協議会等） 公民館支援</p>	<p>高齢者の交流機会等により、健康生活の維持、促進を図る 甲子公民館（松倉地区） 唐丹公民館（閉じこもり予防教室）</p>	<p>○甲子公民館 毎月 1 回実施</p>
<p>寿人生獲得大作戦 パート 8・橋野ぴんちゃん組 （公民館・健康推進課） （栗橋公民館）</p>	<p>講話やスポーツ実技等を通じて体力の維持・健康管理を図りながら、自分の健康は自分で守ることを学ぶ。 健康学習と運動実技、体力・健康チェック、ウォーキング、健康講話、交流会など</p>	<p>○栗橋公民館 毎月 1 回実施 のべ 113 人</p> <p>（成果と課題） 類似する事業との統合を検討する必要あり。生活応援センター事業として展開する。</p>
<p>スクラムメイト （自主運営組織・健康推進課）公民館支援 甲子公民館 唐丹公民館支援</p>	<p>スクラムメイト（健康生活推進員）の下、様々な健康生活推進活動を行う。 自らの健康づくりについて学び、考え、主体的に活動を行い、健康で生き生きと暮らせる「まちづくり」を目指す。 健康学習、ウォーキング、交流会など 大松地区スクラムメイト</p>	<p>大松スクラムメイト 4/13、5/11、6/2、7/14、10/2</p> <p>○唐丹スクラムメイト 4/14、5/24、6/16、7/14、9/1～9/2、10/2、10/25、11/17、1/18、2/16、3/16 のべ 209 人</p> <p>（成果と課題） 地域と連携し、自主的な運営がなされている。各応援センターでもこのような支援体制を推進していくべき。</p>

<p>遊びりテーション (唐丹スポコン主催) 唐丹公民館支援</p>	<p>ボランティア等により、軽度障害を持った方々、一人暮らし高齢者の閉じこもり防ぎ、楽しみや生きがいづくりを支援する。 花見、ニュースポーツ、音楽、ちぎり絵、お楽しみ会、ゲームなど</p>	<p>4/19(お花見) 5/31(グラウンドゴルフ&音楽会) 6/14(つづじ観察) 7/19(ハンドベル練習) 8/23(交流会) 9/13(大石探訪) 10/2(唐丹の日舞台発表) 10/18(ソフトボール) 11/15(レク) 12/13(クリスマス会) 1/27(新年会) 2/14(風船割り) 3/7(閉講式) のべ 221 人 (成果と課題) 上記と同じ</p>
<p>唐丹の歴史を語る会(自主運営組織) 唐丹公民館支援</p>	<p>唐丹の歴史を総合的に学び合わせて資料の収集保存を図り、後世に伝えるとともに、会員の親睦を図る。 講話、歴史の道探訪など</p>	<p>7/10(総会) 9/12(三閉伊一揆について) 11/13(金ヶ崎町千石堤) 1/15(新年会) 3/12(盛岩寺の歴史) のべ 58 人 (成果と課題) 上記と同じ</p>
<p>元気回復夢クラブ (唐丹スポコン主催) 唐丹公民館支援</p>	<p>・中高年を対象とした健康づくりのための運動教室 毎月1~3回(事務での運動、水泳など)</p>	<p>4/14(体力測定) 4/21(筋トレ) 5/12(水中体操) 5/26(エアビ)以後 ~ ローション のべ 280 人 (成果と課題) 唐丹地区は組織が出来上がっていることもあり、様々な活動に唐丹スポコンが活躍している。他のセンターでもこのような組織の立ち上げができれば、スムーズな運営が図られる。 現状では、地域に出ることで人脈づくりを行い、人材の掘り起こしに努めることが第一の作業となる。</p>

唐丹地区生活応援センター事業

生活習慣病予防教室 ｽﾎﾟﾝｼﾞﾝｸﾞ症候群が疑われる住民に対して、生活習慣の振り返りを促し、健診結果の改善を図った。 全6回 95人

唐丹まちづくり検討会 ワｰｸｼｯﾌﾟを通じて地域で取り組む課題を話し合い、地域で実践する計画づくりを行う。 全5回 243人

家庭訪問 2月末 279人 のべ621人

○公民館シアター(2回) まちづくり検討会提案事業「唐丹大名行列、アニメ等」

1/13 20人 3/17 60人

○健康体操(唐丹体操) 唐丹すぽこんと協議中 19年度継続

○町内スポーツ交流事業 19年度実施予定

○世代間交流事業 盛岩寺を会場に「寺子屋」を開設。19年度予定

○青年対象事業 青年学級講座。19年度検討

○唐丹一発花火大会 検討

地区公民館・自主活動グループの支援	<p>釜石公民館 19 団体 リフレッシュ・グループ(エアロビクス)、釜石吟詠会(詩吟)、太極はまゆり会(太極拳)、太極白鶴会(太極拳)、あすなるキャラバン(人形劇)、釜石ギター友の会(ギター)、ほおずきの会(絵手紙)、加-バ-社交ダンスクラブ(社交ダンス)、中文懇話会(中国語)、ほっぷすてっぷの会(健康体操)、マリネットクラブ(パソコン)、気功健康教室(気功)、スポーツチャンバラ広洋館(スポーツチャンバラ)、ばしょまえ交流館(子どもの居場所)、社交ダンスを楽しむ会(社交ダンス)、只越ソーランクラブ(踊り)、生花アレンジ花遊人(花)、手作り倶楽部(工作)、ひまわりの仲間(パッチワーク)</p>
	<p>甲子公民館 23 団体 大倉会(踊り)、甲子婦人学級(学習)、釜石いきいきクラブ(料理)、釜石フォークダンス協会(フォークダンス)、Rダンス(フォークダンス)、甲子民謡保存会(民謡)、甲子歌う会(歌謡)、甲子練功の会(練功)、陶芸グループ(陶芸)、老松会(老人クラブ)、和紙ちぎり絵(ちぎり絵)、ひまわりの会(手芸)、習字の会(習字)、絵の会(絵画)、青竹(水墨画)、二期会(水墨画)、燕子会(太極拳)、学友会(太極拳)、甲子パソコンクラブ(パソコン)、だんぼぼ俳句の会(俳句)、音楽ボラ・アイビーの会(ボランティア)、白鳥(フォークダンス)、ニコニコグループ(ボランティア)</p>
	<p>鶴住居公民館 11 団体 生花教室(生け花)、歌を楽しむ集い(合唱)、エアロビクス教室(エアロビクス)、三陸太極拳同好会(太極拳)、社交ダンス(社交ダンス)、鶴の会(俳句)、あすなる会(パソコン)、スワンクラブ(卓球)、民舞舞踊クラブ(舞踊)、アコースティックギター教室(ギター)、囲碁同好会</p>
	<p>栗橋公民館 3 団体 習字同好会(習字)、橋野の歴史を思い考える会(郷土史研究)、句を詠む同好会(俳句)</p>
	<p>唐丹公民館 8 団体 大正琴教室(大正琴)、吟詠教室(詩吟)、舞踊教室(踊り)、ピンポン同好会(卓球)、愛ちゃんネットクラブ(パソコン)、太極拳クラブ(太極拳)、ぬり絵クラブ(ぬり絵)、洋服リフォームクラブ(リフォーム)</p>

4 地域文化の振興

(1) 芸術文化の振興

創作・発表機会の拡充

事業名	ねらいと内容	実施状況
<p>第36回釜石市民芸術文化祭</p>	<p>釜石市における芸術文化活動の発展と振興を図るとともに、芸術文化を通して心の豊かさ、安らぎと潤いを市民に提供し、健康で明朗な市民生活の向上を図る。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表部門 合唱・音楽・茶道・三曲・詩吟・名曲鑑賞・演劇・吹奏楽・ピアノ・歌と踊り・大正琴 ・展示部門 書道・絵画一般・水墨画・原色押花絵・切り絵・リボンフラワー・手工芸・写真・切手・盆栽・山野草・ステンドグラス・ビデオ鑑賞・盤景 <p>成果と課題</p> <p>17年度に引き続き、印刷物(ポスター及びリーフレット)の早期製作による周知の徹底を図った。また、事務局や各団体が輪番制で入場者カウントを行い、事務処理がスムーズに行われた。</p>	<p>主催 釜石市、釜石市教育委員会、釜石市芸術文化協会</p> <p>テーマ ~ひらめく芸術、きらめく文化のまち釜石を創ろう~</p> <p>開会式 18年11月3日(金) 午前10時~</p> <p>発表部門 9月10日~11月26日 開催数 17回 入場者数 3,686名</p> <p>展示部門 11月3日~5日(日) 14部門 17団体 出展者数 190名 入場者数 2,480名</p> <p>その他展示 11月26日~27日 小中学校総合美術展</p>
<p>釜石市芸術文化協会の運営補助</p>	<p>釜石市芸術文化協会の運営に必要な経費の一部を助成する。</p>	<p>釜石市芸術文化協会 55団体 1,391名 補助金額：180千円</p>

芸術文化交流の活性化・・・市民文化会館の頁に記載

芸術文化鑑賞機会の拡充

<p>第 59 回岩手芸術祭巡回美術展</p>	<p>岩手芸術祭美術展の入賞作品を巡回展示することにより、芸術鑑賞の機会の拡大を図る。</p> <p>内容 期間 平成 18 年 12 月 9 日(土)～10 日(日) 場所 釜石市民文化会館中ホール 展示 日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画、映像 計 87 点</p>	<p>第 59 回岩手芸術祭美術展の入賞作品等を展示し、市民に優れた芸術作品の鑑賞機会を提供した。</p> <p>結果 鑑賞者数 313 名 (昨年度週末 2 日間開催で 208 名)</p>
<p>成果と課題</p> <p>巡回美術展の日程に併せて、岩手芸術祭において入賞・入選した当市民の作品を特別に展示する『岩手芸術祭美術展釜石特別展示』を昨年から同館展示室にて同時開催しているが、今年度はその範囲を大槌地区まで広め、出展者及び鑑賞者から好評であった。</p>		
<p>青少年劇場開催事業</p>	<p>小学生に優れた器楽演奏を鑑賞させることにより、青少年の健全育成を図る。</p> <p>内容 ・ 演目 ギターとパーカッション演奏会 ・ 開催日時 18 年 6 月 6 日(木) 10:00～11:30 ・ 開催場所 市民文化会館大ホール</p>	<p>結果</p> <p>・ 鑑賞校 小学校 13 校 釜石、双葉、白山、平田、尾崎、甲子、大松、唐丹、箱崎、白浜、鶴住居、栗林、橋野 ・ 鑑賞者数 合計 536 名 (児童:498 名) (引率者:38 名)</p> <p>成果</p> <p>児童に舞台芸術の鑑賞機会を提供できる数少ない事業であり、参加校数が増加してきているので、今後も継続して実施したい。</p>

芸術文化活動の推進

<p>文化のまちづくり講演会</p>	<p>「かおり高い文化のまちづくり」、「芸術・文化の振興」及び「生涯学習によるまちづくり・ひとづくり」の推進及び市民の文化活動の活性化促進を図る。</p> <p>内容 釜石市・岩手大学相互友好協定に基づき文化のまちづくり講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 「西洋絵画の見方(傑作に隠された条件と技法・材料)」 ・講師 岩手大学教育学部教授 種倉紀昭氏 ・日時 平成19年2月10日(土) 13:30~15:30 ・会場 市民文化会館中ホール ・対象 市民、釜石・大槌地区芸術文化関係職員等、釜石市芸術文化協会会員 	<p>結果 入場者数 77名 成果と課題 参加者は50~70代の高齢者が多く、中学・高校へ参加を呼びかけたものの参加者はゼロだった。10~40代の参加者は5名であった。 講演については、内容が「西洋絵画の見方」と言うことや映像を使った講演であったこともあり「よかった、大変よかった」との感想が79.5%も寄せられた。</p>
--------------------	--	--

(2) 文化財の保護と活用
文化財調査と指定推進

<p>釜石市文化財保護審議会</p>	<p>釜石にある文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催していただき、答申等を受ける。 また、有形文化財公開事業の開催計画について提言、助言を受ける。 なお、専門の事項を調査審議するため、次の専門部会を置く。 第1 専門部会（有形文化財） 第2 専門部会（無形文化財・民俗文化財） 第3 専門部会（記念物・埋蔵文化財）</p> <p>文化財保護審議会（3回） 各専門部会 随時</p>	<p>文化財保護審議会</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 平成18年5月18日 ・会場 教育センター ・内容 平成17年度事業報告 平成18年度事業計画 第18回釜石市郷土 芸能祭の開催方針について <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成19年2月2日 ・会場 教育センター ・内容 文化財指定候補物件の調査報告書について 文化財指定候補物件の諮問について <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>第3回（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成19年3月27日 ・会場 教育センター ・内容 平成18年度事業報告 平成19年度事業計画 <p style="text-align: center;">第1 専門部会</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成18年7月31日 ・会場 教育センター ・内容 文化財指定候補物件の協議 <p style="text-align: center;">第3 専門部会</p> <p>第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成18年7月31日 ・会場 教育センター ・内容 文化財指定候補物件の協議 <p>○文化財パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成18年9月29日 ・実施場所 外山のエゾエノキ
--------------------	---	---

文化財指定調査 推進事業	文化財の適正な保存を図るため市内に所在する文化財について調査し、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図る。	○上栗林のサクラ ・日時 平成 18 年 10 月 13 日 ○瀧澤神社奥の院と沢松川 ・日時 平成 18 年 8 月 9 日
埋蔵文化財保存 事業	埋蔵文化財は、地域社会の歴史をあとづける貴重な文化遺産であると同時に私たちに生きた学習の場を提供するものである。埋蔵文化財は数に限りがあるにもかかわらず、土地に埋蔵されているため容易に失われてしまう危険にさらされているので、これを調査し記録保存する。	<p>市内遺跡詳細分布調査 唐丹地区の調査、報告書 作成</p> <p>市内確認調査 随時実施 緊急発掘調査 報告書作成 山谷遺跡 発掘調査 学間沢遺跡 モリヨウ遺跡</p> <p>試掘調査 大田林遺跡（橋野町） 小滝沢遺跡（片岸町） 中村遺跡（橋野町） 桜峠隣接地（唐丹町） 大石遺跡（唐丹町） 甲子小（甲子町） 野川前遺跡（箱崎町） 新田遺跡（鶴住居町） 上通遺跡（鶴住居町） 遺跡隣接地（鶴住居町）</p> <p>保存処理事業 報告書作成</p>

文化財の保護と管理の充実

事業名	ねらいと内容	実施状況
史跡橋野高炉跡 保存管理計画策 定事業	国指定史跡である橋野高炉跡の保存管理計 画を策定しようとするもの。	<p>【史跡整備検討委員会】</p> <p>第1回 日程 18年6月15日 場所 教育センター 結果 ・委員長に熊谷常正氏、副委 員長に菊池清人氏を選出 ・今後のスケジュール及び調 査範囲、方法について協議</p> <p>第2回 日程 19年3月15日 内容 18年度に行った範囲内容確 認調査の報告及び今後のスケ ジュール協議</p> <p>【範囲内容確認調査】 期間 18年8月から11月 場所 橋野町青の木</p> <p>【現地説明会】 日程 18年10月9日 場所 橋野町青の木</p>
特別天然記念物 保護処理事業	「文化財保護法」及び「特別天然記念物の管 理に関する法律」の規定により、国指定の鳥獣 の保護管理と滅失した時に処理を行う。 ・ 内容 カモシカの保護と滅失処理	<p>出動件数 28件、うち滅失件数 16件（19年2月末現在） 前年度 出動件数 28件、うち滅失件数 20件</p>
国・県指定史跡 保存管理	国指定史跡「橋野高炉跡」地内の雑草の刈り 払い、樹木の整理及びパトロールを委託し、史 跡の保存と景観の保持を図る。	<p>委託により対応</p> <p>・委託先 小笠原勝彦氏 橋野町青ノ木</p> <p>・業務内容 草刈、樹木整理及 び年間を通したパ トロール</p>
釜石市指定文化 財管理委託	釜石市内の指定文化財の維持管理を目的に、 所有者（管理者）と管理委託契約を締結する。	<p>・委託契約件数及び金額 42件×6千円＝ 252千円</p>

事業名	ねらいと内容	実施状況
文化財標柱等設置事業	市内に点在する文化財、伝承される文化を市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に周辺に標柱・説明板を設置・整備する。	説明板2箇所設置 ・茅沢水車 ・両石津波記念碑
指定文化財重点観察事業	指定文化財の中には、経年とともにその保存が危ぶまれるものがある。このことから重点的に観察を行い、保護を図る。 観察対象指定文化財 ・小川アーチ橋梁2号橋(小川小学校入口付近)	・小川アーチ橋梁2号橋(小川小学校入口付近) 異常なし

文化財の保存と活用

事業名	ねらいと内容	実施状況
第18回釜石市郷土芸能祭	市内に伝わる郷土芸能について、広く市民に周知を図るとともに、伝承活動に携わっている団体に、活動発表の機会を提供することにより、郷土芸能の次代への確実な伝承と継承者の育成に資する。 また、市外の郷土芸能団体を招聘し、郷土芸能の交流と活性化を図る。	日程 平成19年3月4日(日) 13:30~16:30 会場 市民文化会館大ホール 入場者 1,103人 出演者 236人 演目(出演順) 常龍山御神楽(唐丹) 小川幼稚園しし踊り 釜商虎舞 澤田鹿踊(栗林) 黒森神楽(宮古市) 片岸虎舞(片岸) 丹内神楽(栗林)

事業名	ねらいと内容	実施状況
	<p>成果と課題</p> <p>10 数年ぶりの市外招聘団体として、昨年の 3 月に国の重要無形民俗文化財に指定された宮古市の黒森神楽を選出し、市指定無形民俗文化財を中心に、幼稚園や高校も交え、3 大基盤整備完成・市制施行 70 周年記念事業として開催した。</p> <p>周知方法もこれまでを改め、ポスターなどの印刷物を、各業者間においてデザイン競争するデザインコンペを行ってより良いものを作製し、市内だけでなく宮古市に重点をおいて県内全市町村に配布して周知した。また、宣伝テープを作り、ゴミ収集車に宣伝依頼したり、宣伝カーにて宣伝した。</p> <p>その結果、入場者数も前回の 650 人を大きく上回ることができた。</p>	
<p>ぶんかざいなんでも体感事業</p>	<p>市内各所にある文化財を活用し、市民に郷土の歴史についての理解を促がす。また、この事業を契機に、文化財愛護思想の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 史跡めぐり ○ 市内遺跡出土遺物の公開 	<p>【津波記念碑をめぐる】</p> <p>日程：平成 18 年 7 月 2 日 場所：明治 29 年の津波記念碑 人数：17 名</p> <p>【釜石の戦跡めぐり】</p> <p>日程：平成 18 年 10 月 6 日 場所：市内の戦跡ほか 人数：9 名</p> <p>【産業遺産めぐり】</p> <p>日程：平成 18 年 11 月 12 日 場所：甲子川流域の産業遺産 人数：12 名</p>
<p>郷土資料館運営事業</p>	<p>別記</p>	

文化財愛護思想の高揚

<p>古文書解読講座 開設事業</p>	<p>生涯学習の一環として、郷土の文化に親しむための古文書解読講座を開設し、文化財愛護思想の向上を図る。</p> <p>内容 ○解読講座 ・講義 初心者入門講座 佐野家文書の解読ほか ・講師 古文書学習会会長及び事務局長</p> <p>○視察研修</p>	<p>○解読講座 ・開設期間 18年4月15日～19年3月17日 (毎月第1・第3土曜日) ・講座回数 20回 ・受講者数 23名</p> <p>○視察研修 ・開催日 18年10月4日 ・研修先 花巻市東和町</p> <p>成果と課題 歴史を解明するうえで貴重な古文書の解読技術の向上がはかられた。</p>
<p>伝統文化こども 教室</p>	<p>次世代を担う子どもたちに、茶道、華道、日本舞踊、伝統音楽、郷土芸能などを計画的、継続的に体験・修得できる機会の提供を行う。</p> <p>これにより、伝統文化を将来にわたって確実に継承・発展させること、子どもたちの豊かな人間性の涵養を図ることを目的とする。</p> <p>内容 文化庁から委嘱を受けた(財)伝統文化活性化国民協会が事業運営を行う。</p> <p>こども教室の開設は、各実行委員会等が行うものである。</p>	<p>18年度採択団体 ・生田流正派釜石会(箏曲) 参加者数 15名 ・釜石市伝統文化表千家茶道こども教室実行委員会 参加者数 24名 ・釜石市裏千家茶道こども教室実行委員会 参加者数 27名</p> <p>成果と課題 今件度は1団体減ったものの、講師の熱心な指導のもと、子供たちが真剣に学んだ。採択団体は継続的に事業を行なっていることから、子供たちの上達振りが伺えた。</p>
<p>文化財愛護少年 団の育成</p>	<p>文化財愛護思想の普及を図るため、各種助成事業の情報提供を行うなど、文化財愛護少年団の活動を支援する。</p>	<p>随時、各種助成事業等の情報提供を行なった。</p>

平成 18 年度 釜石市郷土資料館

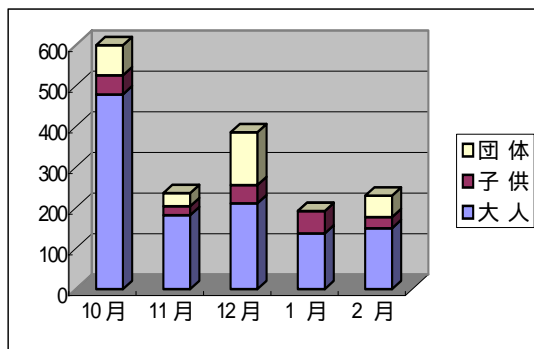
1.平成 18 年度の実績

(1)入館者数等

入館者数（平成18年10月1日～2月28日）

開館日数： 122（うち土日祝：45）

総入館者： 4881



	大人	子供	団体	計	前年度
4～9月	2516	436	285	3237	3044(+193)
10月	479	47	74	600	457(+143)
11月	182	22	32	236	260(-24)
12月	211	45	130	386	386(-145)
1月	137	55	0	192	282(-90)
2月	150	27	53	230	80(+150)
計	3675	632	574	4881	4509(+372)

(2)企画展等

岩手県立博物館移動展「南部の相撲展」 10/12（木）～10/29（日）

来館者 大人 429人 子供 38人 団体 16人 計 483人

市民の協力で釜石ゆかりの資料が集まり、充実した移動展となった。

史跡めぐり～釜石の戦跡探訪～ 10/6（金）

参加者 17名 生涯学習スポーツ課と共催

戦後世代や転入者の参加者には艦砲射撃等、釜石での戦災の事実を知ってもらう機会となった。

第6回企画展「昭和三陸大津波展」 2/23（金）～3/19（月）

来館者 大人 179名 中学生以下 30名 団体 17名 計 226名

講演会 3/3（土） 参加者 8名

昭和8年の津波後に先人が残した記録を中心に開催。

(3)資料利用

・仙人峠写真パネル 3点 ・釜石鉱山資料 10点 ・釜石市鳥瞰図 ・仙人峠、釜石新道図等 5点
 図書資料 各資料撮影 計 5件

(4)資料受贈受託

受領 5件 ・電子レンジ ・仙台筆筒 ・新聞スクラップ（支那事変関係）
 ・レコード（釜石小唄） ・カラー写真引伸機、火鉢ほか

平成 18 年度前期釜石市立図書館事業報告

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「もぐもぐごっくん教室」の参加者を対象に読み聞かせの実演と併せ、絵本に親しむことの大切さを伝えた。 ・7月から手づくり絵本を配布した。 ・参加者数 49組 109名 	毎月第1水曜日	4ヶ月児・保護者	小佐野コミュニティ会館
親と子の映画会	<ul style="list-style-type: none"> ・優れたアニメ映画ビデオを上映し、親子の対話の促進と視聴覚教材の利用促進を図った。 ・観覧者数 52名 	毎月第2土曜日	幼児～一般	図書館視聴覚室
読書サポーター「颯 2000 の会」によるお話広場	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ活動。 ・参加者数 93名 	毎月第3土曜日	幼児～一般	図書館児童室
「こどもの読書週間」特別開館	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの読書週間」の一環として臨時開館し、親子で読書に親しんでもらった。 	4/29 5/5	幼児～一般	図書館
図書館こどもまつり	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回こども読書週間(4/23～5/12)の一環として、図書館ボランティアとの共催事業として開催した。 ・昨年度、当館所蔵の本をたくさん読んだ子ども達30名を多読賞として表彰した。 ・ボランティアグループ「あすなるキャラバン」による人形劇を上演し、さらなる子どもの読書活動推進を図った。 ・参加者数 67名 	5/7	幼児・児童	図書館視聴覚室
児童文学賞受賞図書展	<ul style="list-style-type: none"> ・こども読書週間にちなんで開催した。 ・県立図書館が開催した児童文学賞受賞図書展の資料58冊を借り受けし、展示した。 ・観覧者数 940人 	5/12 ～ 5/21	幼児～一般	図書館展示ホール
釜石大槌地区こどもの読書活動推進連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年9月に策定した釜石市子どもの読書活動推進計画に基づき、管内市町、関係機関・団体等と連携を図りながら、釜石市・大槌町における子どもの読書活動推進体制を整備し、子どもの読書活動推進に資する目的で開催された。 	5/15 8/2	図書館係長	地方振興局

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
岩手県地域視聴覚教育協議会事務局長会議	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年度の運営状況、事業・決算報告 平成 18 年度事業計画、予算協議 功労者表彰 役員改選 	5 / 17	図書館長	サンセール盛岡
岩手県視聴覚協議会連絡協議会理事会並びに総会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年度の運営状況、事業・決算報告 平成 18 年度事業計画、予算協議 功労者表彰 役員改選 	5 / 24	教育長	サンセール盛岡
第 1 回釜石市立図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年度運営方針及び事業計画と図書館資料収集方針について審議した。 平成 17 年度蔵書数を報告した。 出席委員数 8 名 	5 / 26	委員	図書館視聴覚室
東京大学社会科学研究所希望学調査	<ul style="list-style-type: none"> 希望学調査のため来館し、図書館 2 階の郷土資料室の資料等を調査した。 	5/30 7/18 7/19 9/28 ~ 9/30	地域文化研究班	図書館郷土資料室
甲子中学校読み聞かせ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 甲子中学校の選択教科としての読み聞かせのため絵本を団体貸し出した。 	6 / 2 ~ 9 / 22	甲子中学校 2 年生	甲子中学校
就学前図書館学習体験	<ul style="list-style-type: none"> 釜石市立小川幼稚園児が就学前に、図書館体験学習をした。 参加者数 16 名 	6 / 6	幼稚園児	図書館
児童図書館見学	<ul style="list-style-type: none"> 3 年生の社会科の授業の一環として、図書館見学を行なった。 参加者数 108 名 	6 / 13 6 / 27 6 / 28	平田小学校・双葉小学校・栗林小学校	図書館
第 1 回甲子地区読書推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 甲子地区(甲子小学校、甲子中学校、釜石南高等学校)をモデル地区として、釜石市子どもの読書活動推進計画の具体化とその推進のため開催された。 	6 / 13	図書館長	釜石市教育センター
英字新聞を楽しむ会	<ul style="list-style-type: none"> 社会の国際化に対応する教養を高めるため、英字新聞と図書館に親しんでもらうことをねらいとし、6 回開催した。 参加者延べ人数 44 名 	6 / 17 6 / 24 7 / 1 7 / 8 7 / 15	一般	図書館視聴覚室

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
		7 / 22		
岩手県立釜石養護学校児童の施設利用	<ul style="list-style-type: none"> ・病気や障害のため、公共施設を利用する機会が少ない児童のため、施設利用を指導した。今後も連携を図り実施する予定である。 ・参加者数 児童 1 名 教員 1 名 	7 / 6 7 / 11 7 / 20	釜石養護学校	図書館
七夕会	<ul style="list-style-type: none"> ・読書サポーター「颯 2000 の会」による絵本の読み聞かせを中心に、七夕の短冊を飾ったりして楽しみ、図書館と本に親しんでもらう良いきっかけとなった。 ・七夕飾りは 7 月 6 日から 11 日まで図書館内に飾った。 ・参加者数 75 名 	7 / 6	幼児～一般	図書館
図書館調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5 人の班ごとにテーマを決めて調べ学習を行なった。 ・参加者数 28 名 	7 / 11 8 / 8	釜石東中学校 2 年生・甲子中学校	図書館
全国公共図書館協議会表彰伝達式	<ul style="list-style-type: none"> ・18 年の長きにわたって釜石市立図書館協議会委員を務め、釜石市立図書館の運営及び奉仕活動に指導・助言をいただいた。 ・10 年以上にわたり、釜石市立図書館朗読奉仕「ハマナスの会」の一員として視覚障害者のために市広報・地元新聞等の朗読奉仕を行なっている。 	7 / 21	元釜石市立図書館協議会委員 及川ツヤ子氏	教育長室
夏休み手づくり絵本教室	<ul style="list-style-type: none"> ・手づくり絵本の作り方を指導した。小学生の参加が多く、内容についても夢のある作品が多かった。また、一般の参加については経験者の方で、和紙や押し花を使うなど、オリジナルの作品に出来上がった。 ・参加延べ人数 62 名 	7 / 23 8 / 6	幼児～一般	図書館
釜石市視聴覚ライブラリー特別映画会	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教育の推進と公民館活動の推進を図り、地域の青少年教育に資するため開催した。 ・対象者 幼児・児童・一般(甲子地区子供会を中心) ・参加者数 60 名 	7 / 27	幼児～一般	甲子公民館

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
手作り絵本出張教室	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館などと連携し、図書館職員が出かけ、絵本づくりをとおして、読書啓蒙活動を行なった。 ・参加者延べ数 30名 	7/28 8/6	中学生ほか	甲子中学校
手づくり絵本展	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館が、第59回「読書週間」(平成17年10月27日～11月9日)にあわせて募集した、「手づくり創作絵本」を借り受けて展示した。親子連れで興味深く絵本に見入る姿が見られた。 ・展示図書数 162点 ・期間中観覧者数 264名 	8/4～ 8/6	幼児～一般	図書館
教職員経験者10年研修	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進の中核的施設である市立図書館の業務や活動内容について理解を深めるとともに、実際に読み聞かせや、窓口での貸出業務などを体験し、教員としての幅広い見識を高め、学校の活性化に向けた、資質の向上のための一助とした。 	8/9	鵜住居小学校	図書館
古本市	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年3月の情報システム化にあたり、3年以上経過して廃棄処分予定になっていた雑誌(2000年～2003年)を利用者に無料提供した。 ・今回限りの事業である。 ・入場者数 70名余 	8/12	一般	図書館展示ホール
戦争に関する本の展示	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を語り継ぐ手段として開催した。 ・年配者をはじめとして多くの人の姿がみられた。 ・展示図書数 58点 ・期間観覧者 204名 	8/13～ 8/16 (8/14は休館日)	幼児～一般	図書館
しかけ絵本展・夏!	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者は絵本を手に取りながら立体的に飛び出したり、画が回転する絵本に飽きることなく見入っていた。 ・期間中観覧者 574名 	8/17～ 8/20	幼児～一般	図書館
全国訪問おはなしキャラバン隊による絵本の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ・講談社のおはなしキャラバン隊による読み聞かせを行ない、読書と図書館に親しんでもらうことができた。 ・キャラバン車の中を見学した。 ・協力者 読書サポーター「颯2000の会」会員 	8/18	幼児～一般	図書館(キャラバン車)

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
	・参加者数 小佐野保育園児等 51名			
曝書	・階段下に保管されていた、宮古市の岩間弁護士寄贈の蔵書 794 冊の入れ替え作業を行った。 ・当日は休館日とした。 ・協力者 図書館ボランティア 13名	8 / 30 8 / 31		図書館
郷土史を楽しむ会(第1回・第2回)	・郷土史の学習を通じて、市民が郷土を愛し、誇りを持つ機運を醸成する一助とするとともに、職員の資質向上を高める目的のため開催した。 ・10月以降11月25日まで計6回開催する ・講師：郷土史家 昆 勇郎 氏 ・参加延べ数 80名	9 / 9 9 / 30	一般	図書館
中学生の職場体験	・釜石市立図書館業務の体験をとおり、自己の個性や特性を理解し、多様な進路選択の可能性を知り、勤労観や職業観を培っていく良い機会となった。 ・参加者数 6名	9 / 10 9 / 12 9 / 13	釜石東中学校3年生	図書館
読書サポーター「颯2000の会」特別研修会	・釜石市教育委員会生涯学習講座第1回講座として開催した。 ・テーマ 『ひろがる文学 読書の楽しみーお伽草子を読む「一寸法師」の世界』 ・講師 岩手大学教育学部国語教育教授 中村一基 氏 ・受講者数 21名	9 / 16	会員 一般	図書館

平成18年度後期釜石市立図書館事業報告

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
しかけ絵本展・秋!	<ul style="list-style-type: none"> ・「しかけ絵本」を実際に手に取り、「しかけ絵本」独特の楽しさを知るとともに、絵本をはじめとする図書に関心を持ち、ひいては読書並びに図書館の利用促進を図った。 ・展示図書数：51点 ・入場者数：643名 	10 / 3 ～ 10 / 8	幼児～一 半	図書館1階展示 ホール
図書館訪問事業	<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム「五葉寮」を訪問して、入所している高齢者に人形劇を楽しんでもらい、図書館に親んでもらう機会をつくった。 ・ボランティアグループ「あすなるキャラバン」の会員の協力で実施した。 ・参加者数：50名 	10 / 11	高齢者	養護老人ホーム 五葉寮
卓話「釜石市立図書館について」	釜石市立図書館について理解していただくために、釜石市立図書館長が釜石東ロータリークラブ会員の皆様にお話した。	10 / 12	釜石東ロータリー クラブ会 員	ホテル・サンル ート釜石
郷土史を楽しむ会	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土史の学習を通じて、市民が郷土を愛し、誇りを持つ機運を醸成する一助とするとともに、職員の資質向上を高める目的のため計6回開催し、多くの参加者から好評を博した。(前期9/9・9/30に開催している。) ・講師：郷土史家 昆 勇郎 氏 ・延べ参加者数：240名 	10 / 14 10 / 28 11 / 11 11 / 25	一般	図書館2階視聴 覚室
民話を楽しむ会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国読書週間(10月27日から11月9日まで)の一環として開催し、釜石市在住の須知ナヨさんによる、「遠野と釜石に伝わる民話」の語りを楽しんだ。 	10 / 19 10 / 26	一般	図書館2階視聴 覚室

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「遠野と釜石に伝わる民話」 ・講師：須知 ナヨ 氏 ・延べ参加者数：29名 			
第2回釜石市図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度前期釜石市立図書館事業報告 ・平成18年度後期釜石市立図書館事業計画 ・平成18年度前期釜石市立図書館利用状況 	10/25	委員	図書館2階視聴覚室
「文化の日」特別開館	全国読書週間の一環として、「文化の日」に臨時開館をし、読書に親しんでもらった。	11/3	幼児～一般	市立図書館
児童図書館見学	社会科の授業の一環として実施した。	11/9 11/29 12/7	鶴住居小学校2年生・白山小学校3年生・小佐野小学校2年生	市立図書館
「源氏物語と百人一首」を楽しむ会	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石市教育委員会生涯学習講座として開催した。読書と図書館に親しんでもらうきっかけとなった ・講師：遠野市立図書館長(東京学芸大学教授)石井 正巳 氏 ・参加者：40名 	11/10	一般	図書館2階視聴覚室
英語辞書を楽しむ会パート	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスの一環として開催した。アサー・コナン・ドイルの作品を手がかりに、英語辞書の読み方について紹介した。受講者からは「図書を選ぶ幅が増えた」という声があり好評であった。図書館資料を利用してもらう一助となった。 ・講師：釜石市立図書館長 中村 公一 ・延べ参加者数：27名 	11/12 11/19 11/26 12/2	一般	図書館2階視聴覚室

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
教職員経験者 10年研修	生涯学習推進の中核的施設である市立図書館の業務や活動内容について理解を深めるとともに、実際に読み聞かせや、窓口での貸出業務などを体験し、教員としての幅広い見解を高め、学校の活性化に向けた、資質の向上のための一助とした。	11 / 15 1 / 17	岩手県立 釜石南高 等学校・ 釜石養護 学校	市立図書館
平成 18 年度釜 石市立図書 館・学校図書 館職員研修会	釜石市子どもの読書活動推進計画の策定を機に、市立図書館職員と学校図書館担当職員の研修会を開催し、情報交換と交流を深め、市立図書館と学校図書館の連携の方策を探索した。	11 / 30	市立図書 館職員・ 学校図書 館担当者	図書館 2 階視聴 覚室
クリスマス図 書展	・当館所蔵のクリスマスに関する図書を、絵本を中心に展示した。多くの市民が観覧し、好評であった。併せて本や図書館に親しんでもらった。 ・展示図書数：120 冊 ・期間中観覧者：766 名	12 / 6 ~ 12 / 10	幼児 ~ 一 般	図書館 1 階展示 ホール
クリスマス会	・親と子の映画会とあわせて開催した。ボランティアグループ「あすなるキャラバン」による人形劇(ぬいぐるみ)の上演、じゃんけん大会や子どもたちにクリスマスカード、バルーンアートをプレゼントした。併せて図書館に親しんでもらった。 ・参加者数：120 名	12 / 9	幼児 ~ 一 般	図書館 2 階視聴 覚室

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
干支の図書展	<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年の干支（亥）に因み、いのししが登場する絵本を 44 冊、紙芝居を 1 点展示した。クイズ・折り紙を実施し、幼児から年配者まで楽しんでもらった。干支の図書展は今回で 9 回目になるが、十二支を一回りするまで続けていきたい。 期間中延べ観覧者数：1,272 名 	1 / 10 ～ 1 / 17	幼児～一般	図書館 1 階展示ホール
郷土資料展 T S U N A M I 津波 そのとき あなたは	<ul style="list-style-type: none"> 岩手の読書週間（2/1～2/14）の一環として、当館所蔵及び岩手県立図書館や沿岸各市町村立図書館の協力を得て、資料 200 点を展示した。観覧者も多く、またマスコミ関係者の取材も多く、津波に対する関心の高さがうかがえた。 期間中観覧者数：1,051 名 	2 / 1～ 2 / 8	一般	図書館 1 階展示ホール
図書館ボランティア勉強会・認定証交付式	<ul style="list-style-type: none"> 図書館ボランティア活動について学習する場を設けると同時に、一年間の活動を反省した。新規登録者には認定証の交付を行なった。 参加者：11 名 	2 / 10	職員・図書館ボランティア	図書館 2 階視聴覚室
蔵書点検作業	<ul style="list-style-type: none"> 図書館情報システムの的確な運用を図るため、蔵書や配架場所等の確認と、併せて図書の整理を行なった。 図書館ボランティア延べ 45 名の協力を得た。 	2 / 14 ～ 3 / 7	職員 ボランティア	市立図書館
児童文学賞受賞図書展	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県立図書館で平成 18 年度春に開催した、児童文学賞受賞図書展の展示資料を借り受けて展示した。 展示図書数：74 点（99 冊） 期間中観覧者数：774 名 	2 / 23 ～3 / 2	幼児～一般	図書館 1 階展示ホール

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
16 ミリ映写機 操作技術講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・16 ミリ映写機の操作技術講習会と検定を行い、修了証を交付し、16 ミリ映画の利用促進を図った。釜石市視聴覚ライブラリー・大槌町視聴覚ライブラリー・釜石教育事務所の三者共催で実施した。 ・受講者：8名（釜石市5名、大槌町3名） 	2 / 24	一般	図書館 2 階視聴覚室
第 22 回釜石市 読書感想文コンクール表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校、一般（高校生を含む）から応募 60 点（第二次審査分）の中から審査委員が審査した結果、優秀賞 5 点、入賞 12 点に表彰状を授与した。 ・応募締切：平成 19 年 1 月 31 日 ・審査会：平成 19 年 2 月 6 日 	2 / 28	小・中学生、一般	図書館 2 階視聴覚室
郷土資料展その 2「宮沢賢治展」	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にいきる市立図書館を目指す事業の一環として、宮沢賢治と釜石の関係について理解を深めてもらうため、図書館資料の展示と講演会を開催する。釜石市立図書館自主グループ「釜石ぎんどうの会」の協賛を得て実施した。 ・期間中観覧者数：561 名 	3 / 6 ～ 3 / 11	一般	図書館 1 階展示ホール
「宮沢賢治展」 講話	<ul style="list-style-type: none"> ・「宮沢賢治展」にあわせて実施した。 ・テーマ： <ul style="list-style-type: none"> ・「宮沢賢治と鈴木東民」 ・「賢治の教え子伊藤与蔵さんと釜石」 ・講師：釜石市立図書館長 中村 公一 ・参加者数：25 名 	3 / 11	一般	図書館 2 階視聴覚室

事業名	ねらいと内容	時期	対象	会場
郷土資料展その3「近代製鉄の父・大島高任展」	大島高任の初出銑成功 150 周年、橋野高炉跡の国史跡指定 50 周年を記念し、写真パネルと図書資料を展示した。	3 / 13 ~ 3 / 18	一般	図書館 1 階展示ホール
「大島高任展」特別講演会	・「大島高任展」にあわせて実施した。 テーマ：「大島高任よもやまばなし 鉄の大将と呼ばれた男」 ・講師：郷土史家 昆 勇郎 氏	3 / 17	一般	図書館 2 階視聴覚室
第 3 回釜石市立図書館協議会	・平成 18 年度後期釜石市立図書館事業報告 ・平成 18 年度後期釜石市立図書館利用状況 ・平成 19 年度釜石市立図書館運営方針及び事業計画（案）	3 / 20	委員	図書館 2 階視聴覚室

18 年度市民文化会館事業報告

区分	事業の名称	ねらいと内容	実施状況
芸術文化の振	芸術鑑賞型 自主事業	<p>香り高く質のよい芸術文化を鑑賞し、心の潤いとゆとりをあたえる。</p> <p>(第5回釜石地区中学校総合文化祭) 中学校芸術鑑賞会 劇団アルファのミュージカル「メッセージ・時代をかけぬけて」 釜石地区中学校文化連盟の要望を受けてこの作品を上演した。 生徒の感想では「人と人との出会い、人間関係などが、よく表現されていてすごかった。」「演技のひとつひとつに、わらいや感動があつてよかった。」等々の感想が寄せられています。</p>	<p>6月29日(木)午後1時～ 1回公演 入場者数 / 1,178人(生徒+引率教職員) 市内全中学校 生徒 1,088人 引率教職員 90人</p> <p>[成果と課題] 鑑賞した生徒のアンケート結果からも当該鑑賞会は、生徒に感動(心に潤いとゆとり)を与えることができた。また、市内高校(6/27 釜石工業、6/28 釜石北校)の芸術鑑賞会と併せて実施したことから安価で開催できた。今後も高校の芸術鑑賞会と併せて開催し事業の効率化を図りたい。</p>

興	<p>「紀尾井シンフォニエッタ東京・マリオブルネロ演奏会」</p> <p>(財)地域創造の「平成18年度地域芸術文化環境づくり支援事業」の連携事業として、遠野市・矢巾町・当市の2市1町による共同開催をした。日本を代表する奏者で構成する「紀尾井シンフォニエッタ東京」と世界的なチェロ奏者で指揮者マリオ・ブルネロを招き、国内最高レベルの公演を実施した。</p> <p>また、公演の前に市内外の中学・高校生の吹奏楽部員等が各パートクリニックと公開リハーサルに参加し、演奏技術の向上に努めた。</p> <p>宝くじコンサート「東京都交響楽団演奏会」</p> <p>(財)自治総合センターの支援を受け、花巻市(1/14)と共同で開催した。</p> <p>前回演奏会は、平成15年8月に同じく花巻市と共同で実施している。</p> <p>・ の鑑賞アンケート(回答)結果から、鑑賞した8割以上の方々が当該公演について「満足・大いに満足」としたと回答を寄せております。</p>	<p>7月9日(日)午後6時30分～ 入場者数/698人</p> <p>・チケット売上748枚 内訳 前売入場券売上:722枚、 当日入場券売上:26枚</p> <p>1月12日(金)午後7時～ 入場者数/748人</p> <p>・チケット売上758枚 内訳 前売入場券売上:699枚、 当日入場券売上:59枚</p> <p>[成果と課題]</p> <p>一流の演奏家で構成される楽団の演奏会を開催し、市民(鑑賞者)に生の演奏に触れて頂くとともに、質の高い交響楽を提供することができた。</p> <p>また、演奏会では、市内外の中学・高校生の吹奏楽部員等が各パートクリニックと公開リハーサルに参加することができ、演奏技術の向上が図られた。</p> <p>なお、今後も市民に「心の潤いとゆとり」を与え、当市の音楽文化の向上・普及を図ることはもちろんのこと、固定化傾向にある入場者数(数年700人～800人台で推移)の拡大に努める必要がある。</p>
---	--	---

	<p>映画鑑賞会</p> <p>「日本の自転車泥棒」 当市出身者で元競輪選手その後、製鉄所工員を主人公に想定した映画。 当市をロケ(市民・市職員が多数参加)のスタート地点として県内(遠野市・北上市など)各所をロケ地とした映画「日本の自転車泥棒」の上映を行なった。</p> <p>「硫黄島からの手紙」 昨年12月9日に公開されたクリント・イーストウッド監督の話題作(第79回アカデミー賞・音響効果賞受賞)映画。米国側から見た「父親たちの星条旗」に対する日本側から見た映画となる。</p> <p>太平洋戦争末期(1945年2月)アメリカ連合軍と日本軍の激戦地で知られる硫黄島で、一日でも長く祖国・日本を守り抜こうと死ぬより辛い36日間を戦い抜いた男達(軍人達)のさまざまな人間模様を描く話題作映画である。</p>	<p>「日本の自転車泥棒」 8月20日(日) 14:00~、出演者・映画監督・プロデューサーによる舞台あいさつ 14:20~、エキストラと出演者とのトークショー 14:40~、映画「日本の自転車泥棒」上映 映画鑑賞(入場)者:950人</p> <p>「硫黄島からの手紙」 ・3月18日(日)午前の部:10時30分~、午後の部:2時00分~の2回上映 入場者数(午前・午後)/大人835人、高校生以下54人、合計889人 ・チケット売上937枚 (前売券:866枚、当日券:71枚)</p> <p>[成果と課題] 鑑賞者に優れた映画、質の高い映画を提供することができた。 しかし、の上映日が「新仙人峠道路開通」と重複した為、目標入場者数(午前・午後各800人)に至らず、今後上映日程については十分調整を行う必要がある。</p>
創造参加型	地域の文化振興と舞台芸術創作の普及	

	<p>自主事業</p>	<p>第 22 回釜石市民劇場</p> <p>釜石の歴史に光を当てて、地域の発展に力を尽くした先人の生き方を学び、明るく希望に満ちた釜石を目指して行く。</p> <p>今回は「波濤を越えて、伝承・三陸大津波（明治 29 年）平田村の奇跡」原作・中妻町在住の川端美津雄氏の作品。</p> <p>明治 29 年 6 月 15 日（旧暦 5 月 5 日）に当三陸地方を襲った大津波により、多くの犠牲者・壊滅的な被害を被った被災期から奇跡的な復興を遂げるまでの物語で、その時代の人々の生活・人間模様をリアルに描いたものである。</p> <p>市民と行政が「協働」で開催する手づくり舞台である。</p>	<p>平成 19 年 2 月 18 日（日）：昼夜の 2 回公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回（13：00）入場者：大人 744 人、学生 120 人、合計 864 人 ・ 2 回（18：00）入場者：大人 417 人、学生 49 人、合計 466 人 <p>入場者合計 1,161 人 169 人 1,330 人</p> <p>[成果と課題]</p> <p>演劇を通して、将来発生すると予測されている「宮城県沖地震・大津波」の防災教育、或いは被災した際の助け合いなど社会教育の一助となった。また、12 年度（15 回）以降では最高の入込みとなり、本年予定の市制 70 周年記念・3 大基盤整備事業完成等の関連イベントの好スタートとなった。</p> <p>出演者（若年層）の掘り起し・拡大が必要。</p>
	<p>文化交流型 自主事業</p>	<p>各地の演奏家との共演による市民の芸術文化活動の高揚</p> <p>「第 29 回かまいしの第九演奏会」</p> <p>29 回目を迎えた釜石市の年末恒例行事となっている「かまいしの第九」演奏会を開催した。「オーケストラと歌おう」のコーナーで合唱体験をしてもらい、貴重な中学生生活の 1 ページをつくと共に、文化創造活動への関心を高めてもらう。今年度は釜石東中学校の全校生徒 217 名が参加した。（2 部構成で第一部には釜石東中学校の全校生徒が全員参加）</p> <p>また、演奏会はこの他に市民吹奏楽団・かまいし第九の会・大槌第九を歌う会、県内合唱愛好者・沿岸各高校合唱部等が参加した。</p>	<p>12 月 17 日（日）午後 1 時 30 分開演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏会入場者数 1,045 人（一般 703 人 + 参加生徒及び関係者 342 人） ・前売入場券 大人：1,000 円 学生（高校生以下）500 円 ・当日入場券 大人：1,300 円 学生（高校生以下）700 円 <p>[成果と課題]</p> <p>当市の芸術文化活動（演奏家・合唱グループ・愛好者・児童生徒から高齢者まで市民参加の輪の着実な広まり）の高揚、或いは学校教育（特に中学校）に役立っている。</p> <p>なお、当該実行委員会の経費は市補助金及び会員の会費等で運営されているが、市補助金等が削減傾向にあるなか、引き続きの開催にはこれら早期の対策が必要である。</p>
<p>市 民</p>	<p>市民文化会館 運営審議会</p>	<p>適正な会館運営について審議する。</p>	<p>18 年 8 月 4 日（金）第 1 回審議会 19 年 3 月 23 日（金）第 2 回審議会</p>

文化会館の運営	職員の研修等	公立文化施設の管理運営と技術の習得	4月20日 東北地区公文協総会 5月11日 岩手県内公文協役委員会・総会 5月23日 第1回自主事業担当者会議 9月14・15日 第2回自主事業担当者会議
	催物案内の発行	市民文化会館での催し物の周知	催物案内を月1回発行 一般利用者、官公庁・企業関係等に配布
	自主文化事業サポートスタッフ	地域の芸術文化向上と福祉の推進を図るため、その一つとして当館自主文化事業を支援する人で事業をともに作り、芸術文化の力によって魅力あふれる地域づくりに貢献しようとする人、また芸術文化への理解を深め、自身の生活を楽しく充実したものにしようと、意欲あふれるサポートスタッフを募集した。 サポートスタッフ(14人) 男性 4人 女性 10人	6月1日 募集開始(随時受付) 7/1 サポートスタッフ研修会・委嘱状交付 <サポートスタッフ従事事業> 7/9「紀尾井シンフォニエッタ東京・マリオブルネロ」演奏会 8/20 映画「日本の自転車泥棒」上映会 12/17 第29回「かまいしの第九演奏会」 1/12「東京都交響楽団演奏会」 2/18 第22回「市民劇場」 3/18 映画「硫黄島からの手紙」上映会 に従事、利用者のサービス向上に努めた。
施設の維持	保守点検業務	会館施設の維持管理の充実に努める。	保守点検、修繕など実施 ・ 大・中ホールの出入口ドアの補修 ・ 大・中ホール床ジュ・タンの補修 ・ グランドホール出入口自動ドア修繕 ・ 館内ガラス扉の補修

平成 19 年度の文化主要事業

主要事業・行事名	事業内容
第 16 回釜石市有形文化財公開事業	<p>テーマを設定し、釜石市内の文化財を公開し、市民が郷土にある貴重な資料に触れることにより、市民が郷土の歴史や風土に親しむ場を創出する。そのなかで文化財の重要性やその保護の必要性を理解していただくとともに、郷土愛を育み、住民が主体となった釜石市民憲章の「かおり高い文化のまちづくり」を推進する。</p> <p>内容 未定</p>
橋野高炉史跡保存管理計画策定事業	<p>平成 18 年度は、「史跡整備検討委員会」及び文化庁等の指導により史跡範囲内容確認調査を実施してきた。今年度も引き続き調査を行い、平成 19 年 12 月をメドに保存管理計画を策定する。</p>
橋野高炉跡国史跡指定 50 周年記念事業	<p>橋野高炉跡が国史跡に指定されて 50 周年を迎えることから、橋野高炉跡を中心とした鶴住居川流域の近代遺産めぐり等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代遺産めぐり <ul style="list-style-type: none"> 時期：19 年 6 月 3 日 場所：橋野高炉跡ほか ・橋野高炉跡発掘調査見学会 <ul style="list-style-type: none"> 時期：19 年 10 月中旬 場所：橋野町青の木
釜石市郷土資料館運営事業	<p>今年度は、常設展示資料の入れ替えや企画展示の工夫を行う。収蔵庫の収蔵スペースを拡大し、所蔵資料の整理を進める。</p> <p>戦災体験を語り継いでいくための事業について、委員会を設置し検討する。</p>

2.平成 19 年度郷土資料館の事業計画

(1)企画展等

特別展「市制 70 年展」 5 月
70 年の釜石の歩みに関する資料展

企画展「明治三陸大海嘯展」 6 月
明治 29 年の津波関連資料展

企画展「艦砲戦災展」 7 月
戦災資料及び体験記の公開

特別展「新収蔵資料展」 12 月
平成 17 年度以降に寄贈された資料を公開

(2)史跡めぐり（生涯学習スポーツ課と共催）

企画展の内容と時期に合わせるなど、適宜開催

(3)（仮称）郷土資料館友の会

市民の関心を高め、資料館の利用増を図ることを目的に発足を図る

平成 19 年度釜石市立図書館運営方針（素案）

1、運営方針

生涯学習推進の中核的施設として、市民の多様な学習ニーズに応えるため、市立

図書館としての機能拡充に努め、図書館活動の一層の充実を図る。

2、重点事項

（１）図書館情報システムの有効利用と市民への情報発信を図る

図書館情報システムによる貸出手続の簡素化をはじめ、インターネットを介し

ての図書の検索・予約、さらに県内公立図書館とのネットワークによる情報交換

や図書資料の相互貸借など、これらの機能の有効利用と市民への情報発信に努める。

（２）子ども読書活動推進計画の具体化を図る

平成 17 年 9 月に策定した、子ども読書活動推進計画に基づき、計画の具体化を推進する。特に、学校図書館との連携強化を図る。移動図書館車の利用拡大に努める。

（３）生涯学習推進計画との整合性を図る

平成 18 年 3 月に策定した生涯学習推進計画との整合性に留意しながら、よりよい図書館運営を目指す。

（４）図書館資料の整備充実を図る

ア 社会情報、市民のニーズや利用状況の把握に努め、市民の利用要求に応える

資料収集を図る。

イ 釜石市としての特色ある図書資料（海洋・水産・鉄等）の整備に努める。

ウ 岩手県や釜石市にゆかりのある人物や行政・団体等の郷土資料収集に努める。

（５）読書普及と利用の促進を図る

ア 本館、移動図書館「しおかぜ号」の利用促進を図る。

イ 児童文学賞受賞図書展や手づくり絵本展など、各読書週間行事の開催及び各種講座等の開設により、各種学習機会を提供し、読書活動の推進を図る。

ウ 図書館自主グループ等の活動を通じて読書普及の高揚を図る。

エ 市民のニーズに対応するレファレンス・サービス、コピーサービス等

の充実

に努める。

オ 市民の図書館に対する理解と関心を高めるため、館報「ふれあい通信」と「図書館かわら版」(市職員向け)の発行や「広報かまいし」、地元新聞、インターネットを活用して、図書館活動情報や新着図書の紹介等の周知を図り、図書館利用の促進に努める。

カ 保育園・幼稚園の園児や一般市民を対象に、「図書館体験学習」を実施し、図書

館情報システム活用について体験学習をするとともに、図書館利用と読書普及を促進する。

(6) 視覚障害者への奉仕活動の充実を図る

ア 地元新聞を朗読録音したテープの貸出し及び加入の促進を図る。

イ テープ図書の貸出しにより図書館情報の周知を図る。

(7) 関係機関団体等との協力連携の推進を図る

ア 他図書館や社会教育施設等と、情報収集や意見交換を通して、相互の協力連携を進める。

イ 職員の研修等により「親しまれ、愛される図書館」づくりのため、職員の資 質の向上に努める。

ウ 図書館自主グループの育成と連携を図る。

エ 図書館ボランティアの養成と積極的な活用を図る。

(8) 視聴覚教育の充実を図る

ア 視聴覚教材・器材の利用促進を図る。

イ 優れたアニメ映画ビデオを上映する「親と子の映画会」を毎月1回実施する。

ウ 16ミリ映写機操作技術講習会を実施し、16ミリ映画の利用促進を図る。

平成 19 年度釜石市立図書館事業計画（素案）

事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
釜石市立図書館協議会開催	館長の諮問に応ずるとともに図書館運営について、意見を述べる。	図書館協議会委員	年 3 回	市立図書館 2階 視聴覚室
ブックスタート事業	「もぐもぐごっくん教室」の参加者を対象に読み聞かせの実演と併せ、絵本に親しむことの大切さを伝える。健康推進課、生涯学習スポーツ課、図書館、読書サポーター「颯 2000 の会」の連携事業 平成 16 年 9 月から継続	4 ヶ月児とその保護者	毎月 1 回	釜石保健所
図書館情報システムの有効活用と情報発信	図書館情報システム講習会等を開催し、情報システムの操作方法やホームページの活用方法等の指導を行う。また、新着図書情報やベストリーダー等、広く市民に図書館情報の発信に努める。	一般	年間	市立図書館
子どもの読書活動推進計画の具体化	・平成 17 年 9 月に策定した釜石市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが読書に親しむ機会の提供及び環境づくりを目的に、釜石市独自の計画の推進を図る。 ・生涯学習スポーツ課、総務学事課、図書館の連携により進める。	幼児 児童 生徒	年間	
移動図書館車の利用拡大	学校図書館との連携を図る一環として、移動図書館車の巡回場所を 1 ヶ所増設するなど、その利用拡大に努める。	児童 生徒 一般	年間	
親と子の映画会	・優れたアニメ映画ビデオを上映し、親子の	幼児～ 一般	毎月 第 2	市立図書館

	対話の促進と視聴覚教材の利用促進を図る。 ・釜石市視聴覚ライブラリーの利用促進を図る。		土曜日	2階 視聴覚室
「こどもの読書週間」特別開館	「こどもの読書週間」の一環として、4/29及び5/5に臨時開館をし、親子で読書に親しんでもらう。	幼児～一般	4/29 5/5	市立図書館
事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
図書館こどもまつり	・こどもの読書週間(4/23～5/12)の一環として「親と子の映画会」とあわせて開催する。 ・昨年度、当館所蔵の本をたくさん読んだ子ども達を多読賞として表彰する。 ・ボランティアグループ「人形劇団あすなる」による人形劇の上演	幼児児童	5/12	市立図書館 2階 視聴覚室
賢治と野鳥	宮沢賢治の作品に登場する野鳥を紹介する	児童～一般	5月中旬 (バードウィーク)	市立図書館 1階 展示ホール
啄木資料展	・県立図書館の啄木資料を借り受けて展示する。 ・県の巡回展を利用する。	小学生～一般	5/19～ 5/25	市立図書館 1階 展示ホール
就学前図書館体験学習	図書館見学や紙芝居、映画鑑賞を通して、子ども達が、図書館や絵本、パソコンに親しむきっかけとなることを願い企画する。	市内幼稚園	6月上旬	市立図書館

七夕会	・折り紙と短冊をつくり七夕を飾る。 ・読書サポート「颯 2000 の会」による紙芝居の上演	児童一般	7月上旬	市立図書館 1階 展示ホール
手づくり絵本教室	・絵本に親しんでもらうことを目的に夏休み に開催する。 ・自分で世界で一冊だけの絵本の製作し、夏 休みの自由研究等に活用してもらおう読書週間 事業の一環として、毎年秋に行なわれている 「手作り絵本」コンクールに応募を呼びかけ る。	児童一般	7/23 8/6	市立図書館 2階 視聴覚 室
手づくり絵本展	県立図書館で、第60回「読書週間」にあわ せて募集した、手づくり創作絵本を借り受け て展示する。	児童一般	7/26 ~ 7/28	市立図書館 1階 展示ホ ール
事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
手づくり絵本出張教室	公民館などと連携し、図書館司書が出かけ、 手づくり絵本教室を開催する。	児童一般	7月下旬 8月上旬	未定
戦争絵本展	戦争を次世代に伝える意味で終戦記念日を 間に図書を展示する。	児童一般	8月中旬	図書館 1階 展示ホ ール
しかけ絵本展	図書館にある仕掛け絵本を展示、紹介する。	児童一般	8月下旬	図書館 1階 展示ホ ール

英文学を楽しむ会	英文学を読む学習を通じて、英文学の興味を深めてもらう一助とする。 テーマ：未定 講師：未定	一般	9月上旬 ～ 11月下旬 計6回	市立図書館 2階 視聴覚室
文学賞受賞図書展	「全国読書週間」にちなみ、県立図書館から資料を借り受けて展示する。 県の巡回展	一般	10/5 ~ 10/12	図書館 1階 展示ホール
図書館訪問事業	図書館から老人福祉施設に赴き、紙芝居等の上演等、活動を通して図書館に親しむ機会にする。	訪問先 老人福祉施設	10/中旬	未定
民話を楽しむ会	全国読書週間の一環として開催する。 テーマ 未定	一般	10月上旬～ 11月中旬 予定	市立図書館 2階 視聴覚室
「文化の日」特別開館	全国読書週間の一環として、「文化の日」に臨時開館をし、読書に親しんでもらう。	幼児～ 一般	11/3	市立図書館
事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
釜石市立図書館・学校図書館職員研修会	市立図書館職員と学校図書館担当職員の研修会を開催し、情報交換と交流を図り、市立図書館と学校図書館の連携を深める。	学校図書館担当者・市立図書館員	11/30	市立図書館 2階 視聴覚室
英語辞書を楽しむ会	レファレンスの一環として開催する。英語辞書と図書館に親しんでもらう。	一般	11月中旬～ 12月中旬	市立図書館 2階 視聴覚室

				室
クリスマス 図書展	クリスマスに関する図書を展示する。	幼児～ 一般	12月 月上旬	市立図 書館 1 階展示 ホール
クリスマス 会と親と子 の映画会	クリスマスにちなんだ紙芝居や映画の上映 を行う。	児 童 一 般	12月 月中旬	市立図 書館 2階 視聴覚 室
干支(亥)の 図書展	・平成 20 年の干支(子)にちなみ、ねずみ が登場する絵本等を展示する。 ・干支の図書展は今回で 10 年目となるが、今 後も続けていきたい企画である	幼 児 ～ 一 般	1月 月上旬	市立図 書館 1階 展示ホ ール
第 23 回読書 感想文コン クール	・毎年、岩手の読書週間事業の一環として、 読書活動を推進し読書感想文を募集する。 ・読書感想文募集期間 12 月から 1 月末 ・入賞者に表彰状を贈呈する。	小・中 学生 一 般	審査会 2月上旬 表彰式 2月下旬	市立図 書館 視聴覚 室
郷土資料展 宮沢賢治展	岩手の読書週間事業の一環として、普段あ まり目にすることのない当館所蔵の郷土資料 を展示する。 ・テーマ：「宮沢賢治と釜石」	一 般	2 月上旬 ～ 中旬を 予定	市立図 書館 1 階 展示ホ ール

事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
図書館ボランティア勉強会・認定書交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティアの勉強会と認定書の交付を行うものである。 ・ボランティアの募集範囲を高校生・一般のほか、児童・生徒も対象とする。 	図書館ボランティア	2月中旬を予定	市立図書館 2階視聴覚室
16ミリ映写機操作技術講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・16ミリ映写機の操作技術講習と検定を行い、修了証を交付し、16ミリ映画の利用促進を図る。 ・釜石視聴覚ライブラリーの利用促進を図る。 	一般	2月中旬	市立図書館 2階視聴覚室
蔵書点検作業	蔵書や配架場所等の確認と、併せて図書の整理を行う。蔵書の適正な管理に資する。	職員ボランティア	2月下旬～3月中旬	市立図書館
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回「ふれあい通信」の発行 ・団体貸出の実施 ・図書館施設見学や調べ学習等の対応 ・県立図書館巡回展を取り入れる。 ・相互貸借、レファレンス ・機会あるごとにミニイベントを開催する。 <p>(季節に応じた本の展示や各種パンフなどの情報の提供等)</p>	幼児～一般	年間	市立図書館

調べ学習
出し)
職場体験学習

施設見学
特別研究 東京大学調査

施設利用体験

読み聞かせ授業支援(団体貸し
教職経験者10年研修

平成 19 年度市民文化会館基本方針及び重点目標

基本方針

心豊かでうるおいとゆとりのある暮らしを目指し、香り高い文化創造の助長を図り、

市民と共に芸術文化活動の一層の振興と福祉の向上を図る。

重点目標

- (1) 創作発表機会の拡充
第 2 3 回釜石市民劇場
- (2) 芸術文化交流の活性化
第 3 0 回かまいしの第九演奏会
- (3) 芸術文化鑑賞機会の拡充
コンサート・公演（一般向け：イルカ・アコースティックコンサート・中国障害者芸術団「千手観音」）

中学校芸術鑑賞会（劇団わらび座「義経」）

映画鑑賞会（2回開催予定）

（4）会館利用者への各種協力

市内芸術文化団体等の活動に対する技術、舞台、音響、照明のプラン、オペレータの協力

（5）自主文化事業サポートスタッフ

地域の芸術文化向上と福祉の推進を図る一つとして、事業をともにつくり魅力あふれる地域づくりに貢献しようとする意欲あるサポートスタッフを募集。

（6）施設の維持管理

利用者の安全確保と機器故障の防止を図り、安心して利用できる施設とするため、設備の改修及び保守点検などに努める。

事業の概要

区分	事業名	ねらいと内容	対象	時期	会場
芸術文化の振興	芸術鑑賞型 自主事業	香り高く質のよい芸術文化を鑑賞し、心の潤いとゆとりをあたえる。			
		中学校芸術鑑賞会 劇団わらび座「義経」	釜石市内中学生 及び中学校関係者(教職員・保護者)	19年6月28日(予定)	大ホール
		イルカ・アコースティックコンサート	市民一般	19年6月17日(予定)	大ホール
		中国障害者芸術団「千手観音」公演	市民一般	19年10月28日(予定)	大ホール
		映画鑑賞会(2回開催予定)	市民一般	未定	大ホール

	創造参加型 自主事業	地域の文化振興と舞台芸術創作の普及 「第23回釜石市民劇場」	市民一般 釜石市民劇場実行委員会	20年2月(予定)	大ホール
	文化交流型 自主事業	各地の演奏家との共演による市民の芸術文化の高揚 「第30回かまいしの第九演奏会」	市民一般 かまいしの第九実行委員会	19年12月(予定)	大ホール
市民文化会館の運営	市民文化会館運営審議会	適正な会館運営について審議する。 第1回運営審議会 第2回運営審議会	運営審議委員	19年7月(予定) 20年2月(予定)	市民文化会館
	催物案内の発行	市民文化会館での催し物の周知	官公庁・会社等	毎月1回	
	自主文化事業サポートスタッフ	地域の芸術文化向上と福祉の推進を図る一つとして、事業をともに作り魅力あふれる地域づくりに貢献しようとする意欲あるサポートスタッフを募集。	一般市民(市内に就労している者)	通年(随時受付)	

施設 の 維持	保守点検業 務	市民文化会館施設維持管理の充 実に努める。		通 年	
---------------	------------	--------------------------	--	-----	--

平成18年度釜石市生涯学習行政施策の体系と事業

(目標)

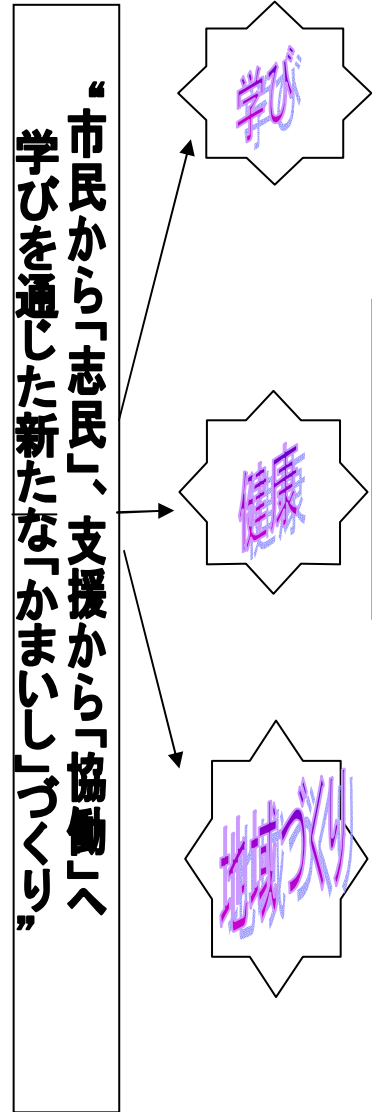
(キーワード)

(施策の方向)

(基本方針)

(施策の重点)

事業



1.多様な学習機会を提供します

2.市民(志民)との協働を軸としたまちづくりを推進します

3.地域の健康安心づくりを応援します

4.学んだ知識を活用できる機会を創出します

5.自主的な生涯学習行動を支援します

6.生涯学習の場を提供します

7.上記を遂行する生涯学習推進体制を整備します

生涯学習推進体制の整備

- 生涯学習推進体制の整備
- 各課等との連携協力推進
- 生涯学習情報の提供

- 指導者等の養成と活用
- 学習成果の発表
- 社会教育指導体制の充実

- 社会教育研修等の充実

- 社会教育施設の整備充実

- 社会教育関係団体の育成等

- ユネスコ活動の充実

生涯の各時期における生涯学習の充実

- 子育てを支援する家庭教育環境の充実

- 青少年の心を育む学習機会の充実

- 成人教育の推進

芸術・文化の推進

生涯スポーツの推進

生涯学習の基礎としての学校教育の充実・連携

生涯学習推進本部(本部及び連絡調整会議)の運営、生涯学習推進協議会の検討
生涯学習まちづくり出前講座、岩手大学との連携事業の強化(生涯学習講座、文化のまちづくり講演会、IT遠隔地連携システムを使った出前講座等)、放送大学
生涯学習広報まなびい釜石、教育振興運動だより、わくわく子どもセンター、県立生涯学習推進センターの生涯学習情報提供システムの活用、かまいし情報カレンダー

生涯学習推進事業(生涯学習指導者及びボランティアの登録・養成・活用等)、指導者ネットワークづくり
公民館まつり(公民館)、自主活動支援事業
社会教育委員会議、公民館運営審議会、公民館長会議、社会教育資料作成。主管課長会議、都市社会教育課長会議、生涯学習文化行政事務担当者会議、教育振興運動市町村担当者会議

社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会、社会教育主事・公民館職員研修会、いわて男女共同参画フォーラム、生涯学習推進専門研修講座、学習情報提供システム担当者講座、岩手県公民館大会、公民館経営専門研修講座、釜石・大槌地区教育振興運動リーダー研修会、いわて学びランド移動講座、ボランティア育成講座

公民館修繕(釜石、小佐野、甲子、鶴住居、栗橋、唐丹の6地区館及び9分館)、放送大学釜石学習センター、大石地域交流センター、IT遠隔地連携システム、図書館情報システム、図書資料の充実、図書館時間延長、図書館相互協力

社会教育関係団体活動助成(釜石市教育振興運動協議会、釜石市PTA連合会、いわて発交流体験セミナー参加者補助金、岩手県社会教育連絡協議会負担金、図書館自主グループの育成、図書館ボランティアの活用)

ユネスコ精神の普及活動推進事業

ひよこ教室(公民館・生活環境課)、子育て学習の全国展開事業(就学時健診、授業参観等を活用した子育て学習講座、父親の家庭教育を考える集い(県主催)、図書館体験学習、子育てネットワークづくり)

国際理解講座あつまれキッズ、こどもエコクラブ、わんぱく広場・ちひっこ広場、世代間交流事業(公民館/生活応援センター)、手づくり絵本講座(公民館)、いわて発交流体験セミナー(県主催)、成人のつどい、教育振興運動推進事業、盛岡-釜石交流サマーキャンプ事業、放課後子どものプラン/放課後子ども教室推進事業、釜石市大石地域交流センター活用事業、ジュニアリーダー育成事業、自然体験学習、子ども読書活動推進事業(音読)、省庁連携体験活動ネットワーク推進プロジェクト

IT講習会パソコン講座、外国語会話教室(英会話等)、アースデイ釜石事業(ゴミウォッチング)、まちづくり市民フォーラム、地域女性学級、明日の暮らしを拓く市民セミナー、健康講座(訪問・個別・地域/生活応援センター)、男の料理教室、実年広場、ビデオ学習講座、文化講演会、植物鑑賞会、高齢者教室、スクラムメイト、遊びりテーション/公民館・生活応援センター)、各地区まちづくり検討会(ワークショップ)、リーダー育成、マップづくり(生活応援センター)